



No. 23110 / 22

Vertical seal impression with Chinese characters.

17-23

Large, bold, vertical calligraphic characters, likely reading '張心' (Zhang Xin).



視
結
之

樂

明治二十年春

互胤題



伊勢名勝志序

古稱為名勝者與時
勢變移名實不相稱也
亦自然之勢也明治維

新以還毀城郭廢藩
屏離析神佛混淆併
合四民之不限披山作新
道轉川架橋梁興學校

建病院開鑿道通電
信之類無處無之而名
勝之在其間者存廢
不一雖片存者概皆改舊

觀今而不審其沿革
雖有古紀所傳之寶
遂至不可推究焉嘗
內默藏龜山之士與余
同鄉也近著此書以
叙其沿革請序於余
因書一言以置之卷
端

五月内ぬの御坊名簿
志村
あ
あ
あ
あ

あ

あ

あ

あ

あ

伊勢國
小川町
伊勢

伊勢

凡 例

一此書ハ伊勢國名區古蹟等ノ其地方ニ顯著ナルモノ
ヲ輯録シ分チテ山川、邑里、神祠、梵刹、原野、濱海、園林、谿
淵、洞窟、樹石、行宮址、城砦及宅址、館址、關址、古墳、古戰場
ノ拾六門トナス但シ項目ノ中別ニ部門ヲ置クニ足
ラザルモノハ各其類ニ依リ附載ス例ヘバ山川ノ中
ニ岡、坂、堤、橋ヲ載セ濱海ノ中ニ島嶼ヲ載スルノ類是
レナリ

一此書ハ從來地誌等ニ登載アルモノハ力メテ網羅ス
ト雖モ其輓近世ニ著ハレ新ニ名勝トナスベキモノ

及ビ社寺ノ本編ニ載セザルモノ等ハ異日後編ヲ發行シテ其缺ヲ補ハント欲ス故ニコ、コ畧ス

一此書ハ遠近遊覽者ノ便ヲ計リ併セテ其土地ノ沿革故事等ヲ尋繹スルノ資ニ供センコトヲ欲ス故ニ力メテ其要旨ヲ摘采シ迂怪ノ談冗雜ノ説ハ之ヲ避ク是レ其實際ニ効用尠キヲ以テナリ

一城址ノ中一邑又ハ數邑ヲ領セシ土豪宅址ニ城址ノ名ヲ附スルハ妥當ナラザレト慣用ノ稱呼ニ據リテ今之ヲ改メズ

一本州地誌ノ書概テ桑名郡ヲ編首ニ置ケリ此書度會

郡ヲ首メトナスモノハ本郡ハ大廟ノ在ル所ニシテ名區古蹟等特ニ著シキヲ以テナリ

一此書引用書及ビ古老口碑アルモノハ一々其目ヲ掲グ以テ據ル所ヲ明ニス然レト古今ヲ考索スルハ一難事ニシテ淺劣吾儕ノ敢テ當ル所ニ非ズ其疏脱紕繆ノ如キハ大方ノ君子幸ニ是正ヲ賜ヘ

一此書編纂ノ業ヲ竣ルハ本縣市町村區畫制定已前ニ在リ故ニ町村名ハ舊稱ニ據ル看者請フ諒セヨ

明治二十二年十月

著者識

伊勢名勝志目次

度會郡

●山川

神路山

高倉山

藤岡山

鼓岳

瀧波山

朝熊山

晝川山

音無山

神崎山

浮島山

貝吹山

小富士山

宇治岡浦田坂

織部坂

五十鈴川

宮川

豐川

勢田川

落合川原

敗北河原

未曾瀨

清盛堤

宇治橋

大沼橋址

●邑里

神境八景

山田原

岡本里

河邊里

藤波里

岩出里

岩波、里
櫻木、里
登遠、里
豐宮崎
●神祠
神宮宮内
同宮外
荒祭宮
月讀宮月讀森
伊弉諾宮
瀧原宮瀧原並宮
土宮

多賀宮
風宮
朝熊神社
箕山中松原神社
磯神社
岩瀧神社
大御田
●梵刹
金剛證寺
世義寺
光明寺
國東寺

廣泰寺
寂照寺僧月仙墓
大江寺
大神宮寺址
蓮臺寺址
西行菴址谷戸松
芭蕉菴址
●原野
瀧、原
明野、原
津長原
御牧御野

湯田野
忌楯小野
●濱海
二見、浦立石
三津、浦
蘆、浦
伊氣、浦
千尋、海千尋濱
御鹽、濱
打越、濱打越濱松
潮合、濱潮合川
高城、濱

鷺取、小濱
清渚
奈津
村松、岸
祓島
宿、島
●園林
朝熊、森
清水、森
興玉、森
釣釜、森
龜、森

皇女、森
●谿淵
鏡、淵
長者、淵
止度、淵
●洞窟
高倉山、窟
押淵、岩窟
鷺嶺、水穴
ヨメ、穴
●池泉
御池

大楠池
忍穗井
御政印井
靜井
井足清水
大湊忘井址
蓮華水
長命水
●樹石
百枝松
大淀姫松
蒔繪松

姫小松
大夫松
富士見松
相摸取松
子富松址取霜宅址
鯛釣松址
五百枝杉
千枝杉
新開梅
鷺日山櫻
前山櫻
屋根櫻

糸櫻
清盛楠
八重柳
常柑子
三角柏
伊勢濱萩
石壺
倭姫命坐石
鸚鵡石
乙女石
退石
猿田彦石 猿田媛石

烏帽子岩 破石
興玉石
曼陀羅石
鏡石龜石、非磐石、神足石
西行戻石
葛籠石
千引石
金剛寺址石
●行宮址
離宮院址
●城砦及宅址
田丸城址

岩手城址
野後城址
阿曾城址
一、瀬城址
愛洲城址正明宅址
下村城址愛洲城址
脇出城址
大内山城址
村山砦址
仁木砦址
伊勢義盛宅址
林雜記及乾兵部宅址

●古墳
後白河院碑
北畠顯家碑
結城宗廣墓
僧月波墓
倭姫命舊跡尾上陵
大若子尊墓
福島正賴同室墓
同修理及正左衛門墓
秋田實季墓
池村隼人墓
福原右馬助墓
三好長秀同賴澄墓

稻葉通直墓
井阪和泉守墓
中川經方墓
僧玄虎墓
僧圓海墓
楠部村五輪塔
和泉式部塚
多氣郡

笛川
寒川
佐々牟江
千鳥瀨
幸橋
●邑里
丹生八景三水
宇田里
有爾町
●神祠
竹神社
相鹿上神社

建日別神社
牛庭神社
丹生神社
竹大與杼神社
鳥墓御厨
●梵刹
近長谷寺
金剛座寺
神宮寺
大陽寺
逢鹿瀨寺址
磯部寺址

正明寺址
●濱海
大淀浦
白良濱
御祓場
小野湊
●園林
花菌
齋宮森
根倉森
●洞窟
涼石岩屋

●池泉
御河池
有明池
駒除池
子安井
二井
僧空海加持水
●樹石
大淀松
吹井松
金掛松
大杉村大杉

西行櫻
三本榊
子得岩
●行宮址
齋王宮址
●城砦及宅址
三瀬城址
大淀城址
五箇篠山城址
鱗尾城址
有爾中城址
牧城址

栗谷城址
矢田城址
波多瀬城址
菅城址
西山城址
吉田氏砦址
下三瀬砦址
明豆砦址
兄國宿禰宅址
平忠盛宅址
片倉氏宅址
●館址

北畠氏館址唐櫃砦址
●古墳
隆子内親王墓
平忠盛墓
有爾中村古墳
吉田兼房墓
僧眞紹墓
不輕塚
經石塚
飯野郡
●山川
櫛田川

櫛田川流域址
●神祠
神山神社
意悲多神社址
神宮屯倉址
●梵刹
朝田寺
本宗寺
一乘寺
大神宮寺址
康平寺址
耐和寺址

●洞窟
莊村石窟
●樹石
西蓮寺、梯
龍燈、松
聖德寺、楠址
鏡石
燈明石
紫石
夫婦石外三石
田播岩
高岩

●城砦及宅址
御麻生園城址
神山城址
●古墳
仁木義長墓
僧空也墓
伊勢氏墓
大塚山古墳丸山古墳
翁塚
飯高郡
●山川
高見山

篠川河岸松
下樋小川鈴止橋、鈴止松
●邑里
松坂十景
大石村
●神祠
意悲神社
立野神社
花岡神社
●梵刹
來迎寺
清光寺

常念寺
龍泉寺
國分寺井本井
繼松寺
瑞巖寺觀音巖、七ツ石、並櫻
橫瀧寺四方松、宗夢梅
菅相寺並梅
●園林
松坂公園
四五百、森
山村、梅林
●洞窟

瑞巖寺、巖洞
●池泉
深長、泉
朝日、井
觀音寺址、井水
●樹石
堤、松
念佛寺、櫻
楓樹
金剛巖
礫石
雲母石

子種石
觀音巖
星落石
●城砦及宅址
松坂城址
大河内城址
坂内城址
船江城址
大石城址
乙栗子城址
波瀨城址
立野城址

鐵中城址高城址
赤桶城址
九回城址
七日市城址
岩内城址
伊勢寺城址
黒田城址
森城址
五箇篠山羅城址
山室城址
六呂木城址
朴木藏人少輔宅址

●館址
花木館址湯館址
織田信長本陣址
●古墳
本居宣長墓
古田重勝墓
潮田長助墓
潤田莊右衛門墓
伊勢寺村古墳
一志郡
●山川
矢野、神山

阿坂山
布引山
貝石山
波多横山湯部、岩村
雲山川
御所河原
●邑里
松筒島
雲出、里
笠松村
片野村
小原村

● 神祠 香良洲神社 敏太神社 波多神社 白山比咩神社 若宮八幡神社川上藤 北畠神社 蘭神社 禁中宮舊址 ● 梵刹 青巖寺 天花寺	眞福院 安樂寺 海禪寺 觀音寺址 班光寺址 金國寺址 僧眞盛誕生地 ● 原野 嬉野 和遲野川口野 君野 ● 濱海	一志浦 三渡、濱三度川、三度松 星合、濱星合浦 雲出崎 ● 園林 香良洲、松原 小戸木、桃林 新家、桃林 ● 谿淵 瀬戸、淵 慶山、淵 茶臼淵
--	---	--

● 洞窟 石窟 ● 池泉 風早池 七栗、温泉 念井 清水井 柳、井辻分松 ● 樹石 香良洲千歳櫻 御嶽山櫻 乱櫻	峠櫻 絲櫻 岩櫻 西藏王櫻 西光寺、松 大巖 將軍岩 笈掛岩、笈掛松 ● 行宮址 聖武天皇行宮址 藤方片樋宮址 皇大神休憩所址御船石	王住谷 ● 城砦及宅址 多氣城址 <small>館址、砦址、關址、監所址</small> 阿射加城址 松島城址 戸木城址 木造城址 御嶽城址 久居城址 波瀬城址 <small>波瀬館址</small> 柿原城址 天花寺城址
---	---	--

南出城址
八對野城址
庄田城址
星合城址
川口城址
家城城址
眞見城址福田山氏宅址
森本城址
瀧野川城址
森城址
佐田城址口佐田城址
大仰城址

八太城址
藤原千方城址
小山城址
蘇原城址
八田城址
宮野城址
川方城址
小森上野城址
堀内城址
小森城址
小原城址近衛氏宅址
中森城址

嶋田城址
矢野城址
川上城址
上城址
高城砦址
垣内砦址
山田野砦址
稻垣砦址
大塚宅址山中宅址
今井及安藤兩氏宅址
沼田宅址
●關址

河口關址
●古墳
隼別皇子及嶋鳥皇女墳
壹志君墓
紀貫之墓古郷梅碑
藤原千方墓
平家六代墓
大中臣定隆墓
平照盛、雅通、尙盛墓
赤松教康墓
僧鎮徳墓
木造氏墓

柚原兼房墓
戸井左近墓
田村氏墓
大宮入道墓
大塚具清墓
大塚
太郎生村古墳
兄弟塚
四十八塚
●古戰場
伊倉津古戰場
羽野古戰場

安濃郡
●山川
安濃、遠山
安濃川
岩田、江
安濃、板橋
●邑里
燒出、里
澁見村
●神祠
結城神社
八幡神社

高山神社	大市神社	●梵刹	四天王寺	西來寺	天然寺	願王寺	觀音寺	大寶院	長谷寺	德雲寺址	千手寺址
僧寶山誕生地	●濱海	阿漕浦阿漕塚	安濃浦	藤方浦	安濃、湊田	●園林	津公園	安濃、松原鹽留松	●谿淵	瀬戸谷	御贄、淵
屏風、淵	馬洗、淵	●洞窟	家所、塚穴	●池泉	玉、湯	鎗鞆井	井戸谷井、址	●樹石	西行櫻	乳母櫻	觀慶寺、櫻

雲林院、下、松	片田一本松、址	三舟石	蛙石	●城砦及宅址	津城址	長野城址、細野城址	安濃城址	雲林院城址	家所城址	分部城址	草生城址
垂水城址	藤方城址	乙部城址	外山城址	今徳山城址	殿城址	浄土寺城址	萩野城址	岡本城址	足坂城址	神戸城址	連部砦址
澁見砦址	半田砦址	平忠盛宅址	大市空之助宅址	家所氏宅址	加藤氏宅址	長官宅址	●館址	有造館址	藤堂氏觀馬館址	待賓館址	●古墳

五百野皇女墓
皇塚
結城宗廣墓
平維盛墓
織田信長母墓
富田知信同男千代丸墓
藤堂高虎室一色氏墓
孝女登世墓
僧清韓墓
經塚
平忠盛胞衣塚
三塚

船塚
義犬塚
椀塚
●古戰場
觀音寺村古戰場
奄藝郡
●山川
栗真山
衣手山
磯山
服部山
東國岡

例視洲橋齋塚
偽橋
●邑里
白子村
木鎌村、稗田村、秋永村、越知村、横地村
●神祠
伊奈富神社
華表址
●梵刹
專修寺 菩提樹 枝垂柳
觀音寺 不斷櫻
●原野

豐久野錢掛松
●濱海
小丹浦
白子濱
●谿淵
片淵
●洞窟
石山洞
窟不動
●池泉
産湯井
僧空海加持水

●樹石
九本松址
棕本大棕
盛光松
腰掛松
嫉妬梅址
●行宮址
豐受大神宮址
敏達天皇行宮址
●城砦及宅址
分部城址
林城址

稻生城址
忍田城址
長法寺城址
楠原城址
棕本城址
御蘭城址
中山城址
川北城址
峯治城址
三間忠保城址
高野尾城址
川瀬城址

三宅城址	今城砦址	夢窓國師宅址 <small>産湯井</small>	信太長者宅址	今井氏宅址	野呂氏宅址	● 館址	政所址	● 古墳	見真大師墓 <small>中興僧真惠墓</small>	分部光嘉墓	土岐塚
土岐百塚	石磨首塚	● 古戰場	土岐軍場址	河曲郡	● 山川	高岡川	● 神祠	飯野神社、高市神社	大鹿三宅神社址	● 梵刹	龍光寺
國分寺王城址	無量寺址	● 濱海	奈古濱	● 園林	若乃松原	● 谿淵	駒之淵	● 池泉	櫻島	山邊御井	● 樹石

山邊逆椿	金玉松	道伯一本松	長木大樟	● 城砦及宅址	神戸城址	高岡城址	鬼神岡城址	澤城址	若松城址	土岐城址	木田堡址
山邊赤人宅址 <small>經塚赤人硯水</small>	松平廣忠寓居址	山邊真人春日寓所址	馬入道宅址	右馬左衛門宅址	● 館址	玉垣別館址	● 古墳	一柳直盛墓	關實重墓	僧悅叟墓	大日塚
恩德之碑	鈴鹿郡	● 山川	鈴鹿山	筆捨山	羽黒山	觀音山	關山	御茶屋山	石大神山	水晶山	雨引山

多津我美坂

鈴鹿川

御幣川

琴橋址

●神祠

椿大神社

龜山皇大神社

眞瀨神社

加佐登神社

●梵刹

石藥師寺 蒲櫻

地藏院 蝦夷櫻

野登寺

正法寺址

觀音寺址

吉尾道場址

●原野

鞠野

關原

名馬生暖出生地

●園林

龜山公園

不言森

森下

●洞窟

岩窟 觀音

●池泉

寺井池

玉泉

無上冷井

芝原名水

頂禮井

都追美

●樹石

不斷櫻

夜泣松

屏風岩 鮎留瀑

鏡岩

駒爪石

●行宮址

天照大神忍山遷幸址

豐受大神遷幸址

綺宮址

天武天皇頓宮址

聖武天皇赤坂頓宮址

●城砦及宅址

龜山城址

峯城址

國府城址

鹿伏兔城址

國司西城址

若葉城址

關新城址

三日城址

山本城址

平田城址

平野城址

原城址

津賀城址

小岐須城址

大久保城址

東條城址

白木城址

阿濃田城址

平資盛宅址

岡部忠澄宅址

景清宅址

國司宅址

長者宅址

小野氏宅址

山尾氏宅址

●館址

源賴朝館址
關官亭址
關氏別館址
●關址
鈴鹿關址
●古墳
日本武尊陵
白鳥陵
武備塚
二兒塚
王塚
南平家、北平家塚

姬塚
岡部忠澄墓
源繼白墓
關宗一墓
關一政室墓
八百比丘尼塚
座頭墓
椀久塚
三重郡
●山川
岡山
杖突坂

三重川
三乃瀨
紅葉堤
思案橋址
天白板橋
●邑里
日永村
濱田村
●神祠
諏訪神社
廣幡神社
飽良川神社

●梵刹
觀音寺
禪林寺
遍照寺
光運寺
僧兵惠庵址
安國寺址
三岳寺址
●濱海
名草浦
●園林
天皇森

●谿淵
楓溪
壹乃谷
鏡淵
●池泉
薦野温泉
曾井、清水
●樹石
長福寺址、櫻
●行宮址
天照大神頓宮址
天照大神遷幸休憩所址

天武天皇頓宮址
倭武命遺址
●城砦及宅址
千種城址
薦野城址
赤堀城址
濱田城址
楠城址
高角城址
西坂部城址
川尻城址
曾井城址

采女城址
 閨田城址
 松本城址
 阿倉川城址
 佐倉城址
 日永城址
 山田城址
 宿野城址
 伊勢氏宅址
 ●古墳
 伊勢義盛墓
 楠十郎墓

竹田昭信墓
 赤堀景信墓
 僧行基墓
 瀧川一益母墓
 東坂部村古墳
 ●古戰場
 宿野古戰場
 鹽濱古戰場
 朝明郡
 ●山川
 朝明山
 尾高山

岡山
 垂坂盛
 杉谷
 根平越
 水無瀬川
 ●神祠
 志氏神社
 穗積神社
 ●梵刹
 光明寺
 淨恩寺
 引接寺址

西行菴址
 ●濱海
 志氏浦
 ●行宮址
 天武天皇頓宮址
 天武天皇遙拜所址
 迹保川大神宮遙拜所址
 朝明行宮址
 ●樹石
 夫婦石
 ●城砦及宅址
 萱生城址

繩生城址
 羽津城址
 茂福城址
 柿城址
 大矢知城址
 伊坂城址
 中野城址
 保保西城址
 市場城址
 富田城址
 疋田城址
 廣永城址

小向城址
 田光城址
 畠城址
 下野山城址
 雲龍宅址
 ●館址
 富田館址
 ●古墳
 殖栗連墓
 藤原藤房墓
 蒔田宗勝墓
 道心因子墓

額田部氏墳	員辨寺址	金井城址
錢龜塚	東禪寺址	星川城址
員辨郡	● 鷺淵	治田城址
● 山川	辨當谷	長深城址
星川	● 洞窟	梅戶城址
雲花岡	篠立、風穴	山田城址
● 神祠	● 樹石	宇野城址
猪名部神社	笠田、老松	下笠田城址
鴨神社	鼎村、七本杉	上笠田城址
● 梵刹	友切石	麻生田城址
聖寶寺	● 城砦及宅址	丹生川上城址
照光寺	田邊城址	丹生川久下城址

石川城址	西野尻城址	猪名部氏祖先墓
山口城址	大井田城址	員辨行綱墓
白瀬城址	阿下喜城址	土岐持頼墓
東城址	向平城址	麻績連墓
志知城址	● 館址	服部友定墓
下平城址	春澄、善繩館址	輪田右馬允墓
島田城址	加藤景清館址	長深村古墳
東禪寺城址	別名館址	小金塚及三塚
中津原城址	松平氏別館址	火塚
中上城址	● 古墳	桑名郡
赤尾城址	三朝塚	● 山川
古田城址	北畠具成墓	多度山

尾野山
 白山鼻
 丸山
 御砂山
 富士山
 愛宕山
 永山
 矢田河原信雄秀吉和陸所
 ●神祠
 多度神社
 鎮國神社、守國神社
 桑名神社、中臣神社

立坂神社
 神館神社
 額田神社
 天武天皇社
 赤須賀神明社
 宇賀神社
 ●梵刹
 本統寺
 法盛寺
 照源寺
 淨土寺
 大福田寺

多度大神宮寺伽藍址
 願證寺址
 阿彌陀寺址
 ●原野
 河內野
 ●濱海
 尾津濱
 溝野濱
 間遠渡
 伊勢海
 ●谿淵
 八壺谷

●池泉
 式部泉
 走井泉
 ●樹石
 六本楠
 一本松
 籠石
 冠石
 御供石
 明檜石
 影向石
 ●行宮址

野代宮址
 天武天皇頓宮址
 聖武天皇石占頓宮址
 ●城砦及宅址
 桑名城址
 長島城址
 桑部城址
 下深谷部城址
 小山城址
 猪飼城址
 福島城址
 大鳥居城址

西方城址
 額田城址
 蓮花寺城址
 金井城址
 西別所城址
 白山城址
 矢田城址
 柚井城址
 堺城址
 南之郷城址
 江塲城址
 東方城址

北別所城址
 多度砦址
 村正屋敷址
 ●館址
 西方別館址
 ●古墳
 本多忠勝墓
 菅沼定盈同定仍墓
 松平定綱墓
 松平定勝墓
 有王塚
 俊寛塚

額田部氏墓
 萩塚
 白魚塚碑
 終

伊勢名勝志
 度會郡

宮内默藏 著

№ 23110 / 70

神路山神道山、津長原、轉法輪山等、別稱アリ 内宮宮城東南ノ山

峯ヲ稱ス或ハ云フ内外兩宮宮城ノ諸山 山間巨杉老樹鬱鬱天ヲ衝キ日

光ヲ蔽遮ス五十鈴川其麓ヲ繞リ幽邃閑雅詣拜者ヲシテ自ラ神境ノ

靈威ヲ感ゼシム五鈴遺蹟、勢國見聞集、三國地誌、勢陽御詠、伊勢參宮按内記

千載 西行

ふかく入て神路の奥を尋れり又うへもなき峯の松風

新古今 太上天皇

詠めそや神道の山に雲消て夕の空をいてん月かけ

鈴屋集 本居宣長

(度會) 山川

ものいそ、神路の山の神杉に過し神代の事を問はまし

高倉山高佐山、日鷲山、賀利佐我峯、左貴山、鶴不鷲山、音無山、郭公不爲野山等ノ別稱アリ 山田常盤町ニ在リ外宮宮

域ニ接ス高貳百尺周回九町余往昔ヨリ神宮ニ属セシガ明治八年宮

林トナレリ樹木鬱葱山中ノ景神路山ニ髣髴ス山上、山田市街及ヒ尾、

參、遠諸州ノ峯巒ヲ望ム風景佳絶ナリ五鈴遺跡、三國地誌、伊勢參宮按内記

神祇百首

度會元長

ほとゝきす鳴ぬあらひを知れとてや音無山に名を殘すらん

蟹の囀今様

足代弘訓

いすゝの川も氷とけ高倉山も霞むあり内外の宮の隔なくさかゆる春に成にけり

藤岡山小鹽山御井山、別稱アリ 高倉山ノ西北ニ在リ山下ニ天忍穗井アリ初メ

日向國藤岡山高千ニアリシナ丹波國眞那井ニ移シ雄略天皇ノ時復

タ此ニ移ス因テ藤岡山ノ稱アリ三國地誌、古屋、紙、勢陽、但誌

神祇百首

度會元長

花咲と眞名井の水を結ふとて藤岡山にあからめあせせ

鼓ガ岳一名高原山、又前山 山田ノ東南ニ在リ宮川、五十鈴川ノ間ニ屹立ス東部ヲ

林崎ト稱ス元ト文庫アリテ多ク古今ノ典籍ヲ藏ス文庫ノ西二町許

天明中建ツル所孝經碑アリ伊勢考古録、五鈴遺跡

歌枕名寄

鴨長明

とやし崎まわていいかて通るへき鼓の岳を打詠つゝ

瀧波山 山田岡本町世義寺境内ノ邊ヲ指ス往昔市街ヲ離レ幽邃ノ地

タリ今尙風騒ノ客館ヲ曳クモノ多シ五鈴遺跡

新名所歌合

荒木田成言

瀧波の山越しにきく鹿の音に寢覺さひしき岡本の里

朝熊山 朝熊村ニ在リ志摩國界に接ス山上ニ金剛證寺アリ殿堂巍々トシテ名區奇跡頗ル多シ山奥ニ吞海庵及ビ富士見臺アリ内海ヲ隔テ駿、遠、參、尾、濃等ノ諸山皆望中ニ属ス參宮ノ客登山スルモノ絶エズ本州中ノ高山ニシテ著名ノ勝地ナリ

續拾遺

荒木田延季

跡たれて幾世經ぬらんあさ熊やみ山を照す秋の夜比月

村庵

曾聞三人説思重々吞海庵前望士峯四十由旬半空雪雲間一朶玉芙蓉

壹川山 朝熊村ノ北方字龜森ノ邊ヲ總稱ス往昔烏羽街道ヨリ五十鈴川ノ支流江川ノ邊一般之ヲ壹河山ト稱セシガ積年ノ久キ田圃或ハ山林ニ變シ爲メニ其區域ヲ詳ニスル能ハズ五鈴遺跡 古老口跡

伊勢記

鴨長明

月ハたゝひる川山に雲消てひかりも見せぬ鹽合の濱

音無山一名江村ニ在リ安養山ノ南方ニ位ス木郡ニ音無山ト稱スルモノニアリ一ハ高倉山一ハ此山ヲ云フ古歌詠ズル所多ク此地ヲ指ス峯巒高ク聳エ北方内海ニ面ス嶺上、松樹ニ株アリ方俗之ヲ國見松又伊勢義盛物見松ト稱ス往昔ノ松ハ枯槁シテ今在ルモノハ新株々 樹下尾、參、遠、駿、甲、信等諸州ノ山岳ヲ囑望スベシ風景絶佳ナリ

夫木

花山院

音あしの山にやけあはうくひすの聲めつらしく人の聞らん

同

鴨長明

松やあらぬ風やむかしの風ならぬいつれの秋か音あしの山

御裳溜集

皇太后宮常陸母

音なしの山の外まできてゆなり去のひかねたる小男鹿の聲

神崎山カササキ一ニ神前ニ作ル 松下村字神前ノ海濱ニ在リ風光佳絶ナリ東北、内海ニ面シ海風爲ノニ暴ラシ按ズルニ此地神前神社ノ在ル所ニシテ倭姫命世紀ニ謂フ所荒崎ノ地ナラン

西行法師住侍りける安養山と云ふ処に人、歌讀み連歌あとし侍りし時海邊落葉と云ふ事を讀みて

鴨長明

秋をやく神崎山の色きえてあらしの末に海士のもし得火

浮嶋山 今詳ナラズ或ハ松下村海邊ニアル山岳ナリト云ヒ又伊氣浦ノ海中ニアル孤島ナリト云フ神宮雜例集ニ度會郡二宮御飯ノ内浮島御厨ヲ載ス然レモ洋中孤島居民ナク御厨ヲ供スベキノ理ナシ前説或ハ是ナラン五鈴遊覽

家集

躬恒

いさやとた身のうき島に渡りあん沈みつゝのみ世を經れはうし

貝吹山カヒキ 楠部村ニ在リ鹿海村ノ山脈ニ連ル高大約百五拾尺東北、内海ニ面ス傳ヘ云フ往昔此地戰鬪アリシ片螺ヲ吹キ軍ヲ撥ム故ニ此名アリト或ハ云フ往昔時刻ヲ市中ニ報ズルガ爲メニ螺ヲ此ニ吹キシト五鈴遊覽、勢蓋シ其地市街ニ遠シ前説或ハ是ナラン

小富士山淺間山、伊勢富士 牧戸村ノ東北ニ在ル山峯ヲ云フ山上ニ富士淺間祠ヲ安ズ形チ富士山ニ彷彿ス方四五里ノ地ヨリ眺望スベシ五鈴遊覽、勢陽俚諺

宇治岡 浦田坂 宇治浦田町ニ在リ尾部坂ニ連ル俗ニ間ノ山ト稱ス元ト此地ニ三

尾上山ヨリ峯巒相連リ通行尤モ艱メリ天正中田丸城主稻葉通直豊臣氏ノ命ニヨリ浦田坂ニ至ル迄ノ嶮ヲ拓キテ平坦ノ地トナス追年

民屋櫛比遂ニ今ノ市街ヲナスニ至ル浦田坂俗ニ牛谷ト云フ宇治國及比
曆公卿勅使記等ニ始メ險ニシテ通ズルコト尤モ難シ且犬馬ノ死屍ヲ
出ツ其名夙ニ著ル 乘テ大ニ神境ヲ汚セリ延寶二年內宮一禰宜氏富巨資ヲ棄テ峻峻ヲ
 夷カニシ遂ニ今ノ參道ヲ開クニ至ルト云フ舊蹟開書三國地誌
 織部坂一ニ下部 高宮ニ到ルノ坂路ヲ云フ神境廣博記ニ檜尾織部坂
 云々ヲ載ス即チ是ナリ三國地誌伊勢參宮

神祇百首

度會元長

炭竈も斧の音をもせぬ山に誰かありへの坂にありてふ
 五十鈴川一名御裳瀧 源ヲ神路、島路ノ二山ヨリ發シ皇太神ノ南西ニ至
 リ合流シテ内海ニ入ル倭姫命世紀ニ五十乃河上仁遷幸于時河際樹
 志氏倭姫命御裳齋長志氏計加禮侍介留於洗濯給江里從レ其以降號ニ御
 裳須曾河云々ト記セリ水泉清冽川底ノ魚數フ可シ其名上古ヨリ高シ

新古今

中納言匡房

君か代は久しかるへし度會や五十鈴の川此流れ絶せて

續後撰

太上天皇

我未の絶に住まあんいすゝ河底にふるめて清きまゝるを

同

藤原俊成

宮柱たきつ岩根の五十鈴川万代すまん末そとるけき

宮川度會川、度會大川、豐 本州中ノ大川ナリ源ヲ多氣郡大臺原山ニ發シ
 諸川ヲ合シ本郡ヲ經テ東流海ニ入ル往昔齋內親王神宮ニ詣ルノ時
 此ニ祓禊ス後世勅使ノ到ルモノ亦同シ每歲五月陰外宮宮人此川ニ
 テ年魚ヲ漁シ神饌ニ供ス上古忍穗海人年魚ヲ取り神 之ヲ御川神事ト
 稱ス延喜式、江家次第、元長記

萬葉

柿本人麿

度會大河邊若厓木吾久在者妹戀鴨

續拾遺

後鳥羽院

朝夕にあふく心を猶てらせ浪も去つかにみや川の月

豊川 外宮宮城ノ西北ヲ廻流ス二橋アリ一ヲ北御門橋一ヲ一鳥居橋

ト云フ北御門橋ノ西ニ石垣アリ慶長四年大阪營中朝日局ノ造ル所

タリ近傍ニ兜石アリ往昔出陣ノ者神宮ヲ拜スル時此石ヲ撫スルヲ

一例トセリ 五鈴遺響、勢田村ノ山間ヨリ發シ皇太神宮々城ヨリ出ル所ノ諸谿流ヲ合シ河崎、神田久志本村、田尻村等ヲ經テ内海ニ注グ此川運輸ニ便ニ

勢田川 勢田村ノ山間ヨリ發シ皇太神宮々城ヨリ出ル所ノ諸谿流ヲ

合シ河崎、神田久志本村、田尻村等ヲ經テ内海ニ注グ此川運輸ニ便ニ

往昔神宮木材及ビ御費運漕等ノ諸神事アリ又沿岸ニ河邊里アリ風

景頗ル佳ナリ

落合川原 宇治瀧祭ノ邊ヲ指ス即チ五十鈴川ノ北涯ニ屬ス 五鈴遺響、勢田村ノ山間ヨリ發シ皇太神宮々城ヨリ出ル所ノ諸谿流ヲ合シ河崎、神田久志本村、田尻村等ヲ經テ内海ニ注グ此川運輸ニ便ニ

伊勢神道山の月杉の梢にかくれて御裳濯川の西の落合川原
にうけ見えけれの讀侍る 僧通海

月ハ早神路の峯に出ぬらん御河の西に影を涼しき

敗北河原 一ニ廢亡河 二作ル 山田常盤町字出口ニ在リ文明中外宮祠官村山武

則ノ兵國司北畠氏ト戦ヒ又慶長五年關原ノ役喜多庄藏ナルモノ西

軍ニ屬シ本郡中島ニ戦ヒ共ニ敗走セシ處ナリ故ニ名ヅク往昔ハ沙

漠ノ地ナリシガ今ハ田圃トナレリ 五鈴遺響

未曾瀨 今詳ナラズ蓋シ宮川ノ末流潮水ノ遡ル邊ナラン其地多ク海

苔ヲ産スト云フ 三國地誌、勢田村ノ山間ヨリ發シ皇太神宮々城ヨリ出ル所ノ諸谿流ヲ合シ河崎、神田久志本村、田尻村等ヲ經テ内海ニ注グ此川運輸ニ便ニ

名寄

鴨長明

さか鹽ハミをかせませてさしの得るす汝過て行人に問とや

清盛堤 山田常盤町字大間廣ニ在リ形狀僅ニ存ス往昔宮川此邊ヲ流

ル屢々洪水ノ害アリテ山田市中ニ横流シ將ニ神宮ニ及バントス朝廷
之ヲ憂ヒ平清盛ニ命ジテ堤防ヲ修築セシム清盛乃チ自ラ此ニ到リ
工事ヲナシ以テ害ヲ免ルト云フ勢陽
但謠

宇治橋 五十鈴川ニ架ス是ヨリ以テ神宮城内トス傳ヘ云フ天文中慶
光院ノ開祖清順尼始メテ之ヲ架シ永享中將軍義教參宮ノ時之ヲ修
造シ爾來今ノ如キ壯觀ヲナセシト勢國見
聞集

大沼橋址 宇治浦田町ニ在リ今長堀ト稱ス相傳フ此邊往昔ハ大沼一ニ世
木浦ト
フ云ニシテ橋ヲ架セシト建久年中
行事記

新名所歌合

大中臣定忠

立ちもる大沼の橋のほのミへて霧にくれ行秋の小山田

邑里

神境八景 實政二年岡田挺之神境八景ヲ撰ス曰フ

山田夜雨 高倉暮雪 光明晚鐘 神路晴嵐 朝熊秋月 宇治夕照

二見落鴈 大湊歸帆

山田原 山田市街ノ地ヲ通稱ス往古沼木郷ノ一村里ナリシモ外宮鎮
座已來神徳ヲ仰ギ來リ集ルモノ多キヨリ人家漸ク櫛比シテ今ノ一
都會ヲナスニ至レリ勢國見聞集
五鈴遺謠

玉葉

源 順

神のます山田の原の鶴比子は歸るよりあそ千代はかそへぬ

新古今

西 行

きかすともあゝをせにせん時鳥山田比原の杉のむらたち

鈴屋集

本居宣長

とろろら山田の原のすきかてに鳴音もしけき時鳥かあ

岡本里 山田岡本町ノ内舊ト上之切中切下之切ノ地ヲ稱ス倭姫命世

紀ニ大國玉神ト佐々良姫參來迎ニ相土橋郷岡本村云々ヲ載ス即チ其
舊地タルコト知ルベシ往昔此地岡陵ニ属シ西南部纔ニ村落ヲ成セ
シガ今ハ街衢トナレリ五鈴遺響

新名所歌合

大中臣定忠

染あかぬ紅葉ののこる浮雲のまぐれてかゝる岡本此里

河邊里 山田河崎町ノ地ヲ稱ス或ハ云フ宮後町字今、人家櫛比シ船舶

幅湊の地勢國見聞集古老口碑

新名所歌合

荒木田尙良

すむ人やくるれのまどにあつむらん河邊の里に飛ぶ螢かぬ

藤波里一ニ藤波佐八村字藤波ニ在リ宮川ノ清流ニ沓ム今耕圃マリ往昔

内宮祭主藤波氏宅ヲ此ニ設ク三國地誌五鈴遺往昔岸邊一帶ノ松林ニ後年出水ノ時沉没セリ古老口碑

新名所歌合

大中臣定忠

行春をよめか経ての万代を松にそ契る藤あみの里

岩出里 岩出村ノ地ナリ宮川ニ沿フ往昔神宮祭主ノ居住セシ処ナリ

勢陽
偃諺

新拾遺

伊勢大輔

かすかなる谷のほらをそ思ひやる秋風此ミや吹てまほらん

岩浪里 今詳ナラズ蓋シ宮川ノ邊ニアリシナラン勢國見聞集
勢陽偃諺

新名所歌合

大中臣定忠

秋風も川音高く更る夜につきかおさゆる岩あみの里

櫻木里 朝熊村字櫻木ノ地ヲ指ス今社地及河岸場タリ往古朝熊村ノ

枝村ニシテ一部落ヲナセシガ元和中洪水ニ罹リ民居悉ク一字田村
ニ徙ル五鈴遺響
古老口碑

新名所歌合

大中臣定忠

月にくれてちかつくまゝに白雲の花になりゆく櫻木の里

登遠^{トホル}里 通村^{トホリ}ノ地ヲ云フ勢國見開集

夫木

大貳高遠

行道の通るの里に御秘して今そ島根を出はなれける

豊宮崎 山田岡本町ニ在リ外宮ノ東部ニ接ス鼓^カ岳其前面ニ聳ユ四

面林鬱園繞シ其間田圃小流相連ル古昔之ヲ錦河内錦小河等ト稱ス

境域幽靜ニシテ近郷ノ勝地タリ神宮文庫アリ之ヲ宮崎文庫ト號ス

慶安中度會延佳等創建ス神書及ビ和漢古今ノ典籍ヲ藏ス五鈴遺澤伊勢參宮按内記

佐々木弘綱

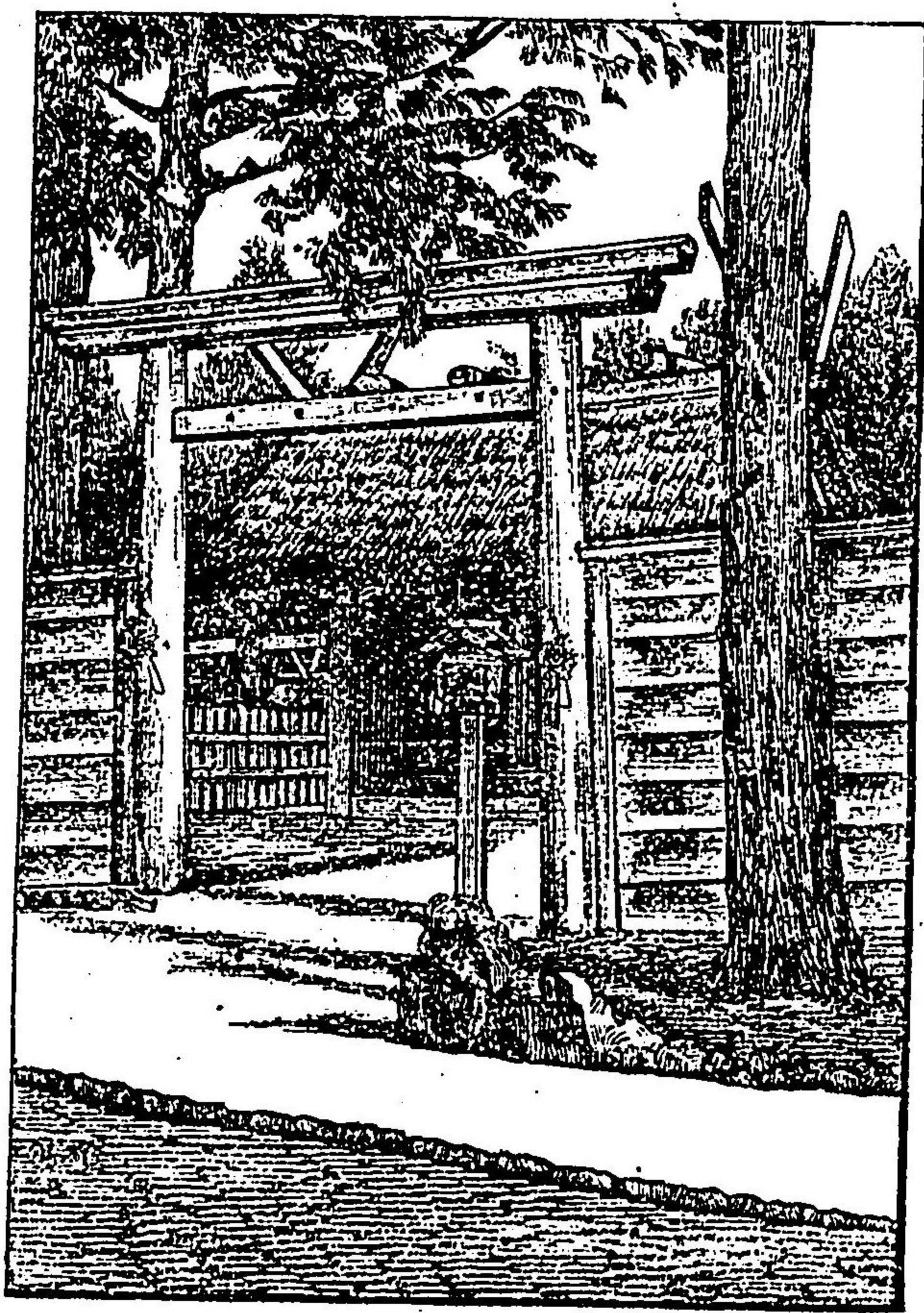
櫻さく豊宮崎の文庫よふみよむ人の聲かをるなり

神祠

神宮之圖
(宮内)



神 宮 之 圖
(宮 外)



神宮一ニ内宮又五十鈴宇治五十鈴川上ニ在リ宮城面積拾貳萬六千坪餘

天照大神ヲ祀ル天手力雄命萬幡豐秋津姬命ヲ配祀ス垂仁天皇二十

五年倭姬命神誨ニ因テ祠ヲ此ニ建ツ兩宮ノ事歷朝ノ青史ニ赫々タリ

特ニ神宮ノ事ヲ記セル書及ビ災異雜事朝廷特ニ之ヲ敬シ國家ノ安寧ヲ祈リ

ノ如キ枚舉ニ暇アラズ今茲ニ贅セズ大事アル毎ニ必ズ先ヅ使ヲ遣ハシ之ヲ告グ往昔齋宮ヲ設ケ皇女ヲ以

テ之ニ充テ大神ニ侍セシム又神領神戶ヲ獻ジ二十一年毎ニ神殿ヲ

改造シ遷宮ノ式ヲ行フ永ク定例トス今ニ至ル迄千八百九十有餘年

其間世亂ニ際シ遷宮式ヲ欠キ或ハ神地ヲ穢サル、コトアリト雖モ、

我日本ノ民庶永ク其靈德ニ浴シ特ニ往テ之ニ詣拜スルモノ古來四

時絶エズト云フ域内別宮、攝社、末社及ビ東西寶殿、四丈殿、五丈殿、外幣殿

御酒殿、忌火屋殿、宿衛屋、御厩、御倉、瑞垣、玉垣、蕃垣、御門、鳥居等森然タリ

古事記、日本書紀、倭姬命世紀、鎮座本記、神宮雜事記、神宮文書

玉葉

鎌倉右大臣

神風や朝日の宮此宮うたし影のどくなる世にまそあまけれ
同 度會元長

神の代乃春やたつみ此うし此山都の空も今朝かすむらむ

拾遺愚草

藤原定家

さやかある月日のかけにあたりても天照神を頼はかりそ

神宮宮度會宮ト稱ス又外宮ト稱ス受

山田原ニ在リ宮城面積拾壹萬七千坪餘豐受大神

ヲ祀ル天彦々火瓊々杵尊天太玉命天兒屋根命ヲ配祀ス雄略天皇廿

二年之ヲ創建ス皇大神宮ヨリ後ル、コト四百八十二年城内別宮攝

社末社東西寶殿四丈殿五丈殿九丈殿外幣殿御饌殿御酒殿忌火屋殿

宿衛屋御厩瑞垣玉垣蕃垣御門鳥居等嚴然トシテ内宮ニ同ジ引用書内宮ニ同ジ

續後拾遺

藤原俊成

かけまくもかして祀豐の宮柱をほ祀心は空にふるらん

參詣記

西行

何事のおのしまはるのまら糸ともあまかふさおそ涙まほるゝ

荒祭宮

内宮宮城ニ在リ皇大神宮荒御魂ヲ祀ル内宮ノ別宮タリ引用書前

ニ同ジ

月讀宮

月讀森 二處アリ一ハ北中村ニ在リ一ハ山田宮後町ニ在リ月讀

命ヲ祀ル共ニ神宮ノ別宮タリ引用書前ニ同ジ

風雅

後宇多院

とこやま茂てふは御うみ此うのふぬの今もかしてき月讀の神

新古今

西園寺入道

さやうある戀のたう糸の雲井よりかけやのらくる月讀の森

伊弉諾宮 北中村月讀宮宮城ノ西位ニ在リ伊弉諾伊弉冊ノ二尊ヲ祀

ル内宮ノ別宮タリ引用書前

久安百首

後九條内大臣

あまつさふ月日とたへていさなきのみことのさため世の明らけし

同

定清朝臣

いさなまのますま此鏡手ふとりてうましもしるくてらす月よみ

瀧原宮 瀧原並宮 野後村ニ在リ皇大神御魂ヲ祀ル内宮ノ別宮タリ

引用書前

夫木

西行

浪と見る花のまゆえの岩枕瀧の宮みや音よとむらん

同

爲家

瀧の原あらひの宮の神たぐら猶未つゝく沖津まら浪

土宮 外宮宮域ニ属ス土乃御祖神ヲ祀ル外宮ノ別宮タリ大治三年度

會川堤守護ノ爲メ宮號宣下アリシト云フ引用書前

多賀宮一ニ高宮

外宮宮域ニ属ス豊受大神荒御魂ヲ祀ル外宮ノ別宮タ

リ本宮ニ到ルノ坂ヲ下部坂ト云フ坂路ノ傍ニ袖曳石、袖摺石等ノ名

石アリ引用書前

風宮 二處アリ一ハ外宮宮域一ハ内宮宮域ニ在リ級長津彦命ヲ祀ル

共ニ神宮ノ別宮タリ元ト風ノ社ト稱セシテ弘安外寇ノ變神風アリテ

兵船ヲ吹き沈メシヨリ正應中宮号宣下アリシト云フ引用書前

名寄

西行

こ此春ハ花ををしめてよそあらん心を風の宮にまゐせて

朝熊神社一ニ小朝熊社ト稱 朝熊村ノ乾位ニ在リ櫻大刀自神ヲ祀ル内

宮ノ攝社ナリ此地山ニ倚リ川ニ臨ム川ヲ隔テ鏡宮アリ本社ノ神鏡

云フナリト 風光頗ル佳ナリ境内昔時櫻樹多カリシガ今枯槁セリ五餘遺蹟、伊勢

風雅

荒木田定忠

春風よ岩根のさくら吹たひよ浪の花ちる朝熊の宮
箕曲中松原神社 山田岩淵町字箕曲ニ在リ大歳神ヲ祀ル創立詳ナラ
ズ祭日八月廿一日社記

磯神社 磯村ニ在リ天照大神御靈ヲ祀ル社傳ニ云フ垂仁天皇ノ時倭姫
命皇大神ヲ奉ジテ此地ニ到リ行宮ヲ奉齋シ後宇治五十鈴川上ニ鎮座
ス舊址毀廢ト云フ又本ハ後年宮川洪水ノ時崩壞セシニヨリ今ノ地ニ遷セ
シト祭日一月五日同十日十一月一日社記

續古今

皇后宮太夫師繼

神風やいすゝ此河のいそのみや常世の浪の音きのとけき
岩瀧神社 野後村ニ在リ國狹槌尊ヲ祀ル垂仁天皇ノ時創立祭日十一
月廿日社記

仙宮神社

カガチ河内村ニ在リ猿田彦命天細女命ヲ祀ル創立詳ナラズ祭日

六月十三日社記

大御田 二處アリ一ハ楠部村ニ在リ内宮ノ御田タリ一ハ藤里村ニ在
リ外宮ノ御田タリ天長田ト稱ス天上ノ神田ヲ移セシモノナリ每歲五月
曆陰御田植ノ神事アリ共ニ今廢ス神宮儀式帳
五鈴遣誓

神祇百首

度會元長

我國よ長田の早苗うつぎはゆかゝせん世のとみくぎのはね

梵刹

金剛證寺 朝熊村ニ在リ臨濟宗兼眞言宗山城南禪寺末ナリ欽明天皇
ノ時僧曉臺此山ヲ創開シ天德行幸且伽藍創造アリ推古天皇十年厩
戶皇子臨幸佛舍利ヲ納ム聖武天皇又行幸アリテ堂宇ヲ再建シ方
一里ノ地ヲ賜ヒ勅願所ト定メラル元ト諸宗兼學ニシテ一定ノ宗旨

チオカズ大同二年僧空海大神ノ託宣ニヨリ此山ニ上リ中興ス元中
 七年僧東岳來住シ將ニ絶エントスルヲ興シ大ニ經營ス是ニ至テ始
 テ禪真兼學トナレリ後九鬼守隆徳川家康紀伊藩主等各寺領ヲ給
 ス寺ニ左馬頭源義朝大刀一口備後國所トコト恭盤一個家康寄附ニシテ所ハ
御恭所トノ謂ナルベシ
 ナ藏スト云フ境内名區頗ル多ク爲メニ往テ訪フモノ少カラズ寺記五
鈴還撰
 清雲院 山田尾上町ニ在リ淨土宗知恩院末ナリ寛永七年僧尊譽創立ニ
 シテ吹上町ニ在リシガ延寶中今ノ地ニ再建ス本寺ハ徳川家康ノ妾清
 雲院殿阿夏尼ノ稱スノ開基ナルヲ以テ俗呼テ阿夏寺ト稱ス往時ハ什寶多ク
 就中村菊琵琶ト稱スルモノハ名器ナリシガ今ハ散逸セリ惜ム可シ寺記五
鈴還撰
 世義寺 山田岡本町瀧波山ニ在リ眞言宗山城醍醐寺末ナリ天平中聖
 武天皇ノ勅創ニシテ元ト前山龜ノ郷ト云フ地ニアリシヲ永祿中外
 宮ノ西ニ移シ寛文十一年今ノ地ニ移セリ往古塔頭十九坊アリ輪番

之ニ住ス後本坊ヲ威徳院ニ合ス本寺例歳如法經會修行ノ式アリ俗
 ドウヒト稱ス此法會ハ播磨書寫山ト本寺ノミナリシト云フ寺記五
鈴還撰
 光明寺 山田岩淵町ニ在リ臨濟宗東福寺末ナリ天平十四年聖武天皇
 創建帝及後深草後醍醐天皇ノ勅願所タリ元應元年結城宗廣堂宇ヲ
 再建シ其子月波ヲ中興開山トス此寺元ト本郡鼓ヶ岳ニ在リシヲ山田
 吹上町ニ移ス後今ノ地ニ轉ズ寺ニ宗廣自筆ノ勅製軍法軍中日記往昔處
川光國
之ヲ珍寶シ後
遂ニ粹ニ上スヲ藏ス又後深草帝ノ時常盤井入道實氏寄附ト稱セル梵鐘
 アリ傳ヘ云フ神境元ト鐘ヲ撞クコトヲ禁ズ天正中外宮神官等本寺
 ノ撞鐘ヲ禁セント欲シ豊臣秀吉ニ訴フ秀吉乃チ上部越中守ニ一片
 ノ公文ヲ下シタリ公文ニ曰フ
 書中遂披見候山田鐘之儀大神宮嫌にて自昔無之由聞届候得共鐘
 一つ者有之由朱にて書付仕可置候重而自是可申遣候先書(此處文
字不詳)

如中とるへきにあらず候(此處文字不詳)可然儀と猶近々可中聞者也

十月八日

秀吉朱印

上部越中守殿

國東寺 東原村國東山上ニ在リ天台宗推古天皇ノ時厩子皇子皇大神ノ神勅ニヨリ本尊ヲ彫刻シテ之ニ安置ス元ト大伽藍ニシテ塔頭三十六院アリ記寺北畠國永禪也法印ノ國東山ニ參籠セシ時贈リシ歌ニ寺の名も國を束ぬる山あをむ世々にし高くあふかさらめや

廣泰寺 宮古村ニ在リ曹洞宗明應三年僧玄虎ノ創立ニシテ本州曹洞

總録寺タリ寺記

寂照寺 僧月仙墓 宇治中之町ニ在リ淨土宗延寶五年智恩院三十七世僧智鑑創立ス安永三年僧月仙來リテ住職トナル寺ニ古書畫珍寶等多ク藏セシガ明治十四年回祿ノ災アリ堂宇ト共ニ焼失ス惜ム可シ月仙

初名玄端本姓ハ丹家氏尾張名古屋ノ人幼ニシテ剃度ス性畫ヲ嗜ミ施與ヲ好ム其本寺ニ來ルヤ夙ニ堂宇ノ壞敗ヲ歎ジ之ヲ修造スルノ志アリ乃チ心ヲ畫ニ專ニス請フ者踵ヲ接ス月仙價ヲ論ジテ筆ヲ下ス人皆其貧鄙ヲ嘗ル月仙意トナサズ其獲ル所ノ金ヲ稱貸シ積ミテ數千金ニ至ル是ニ於テ堂宇ヲ改修シ經藏ヲ新築シ五百金ヲ以テ修繕料トナシ百金ヲ清雲院修繕ニ充ツ尋テ又千五百金ヲ山田奉行所ニ托シ其息ヲ以テ永ク宇治山田ノ窮民ヲ賑ハス傳ヘテ明治維新ニ至ル世人其德ヲ感賞セザルナシ文化六年正月寂ス年六十九乃チ本寺ニ葬ル碑アリ徒弟定仙ノ撰文ニ係ル

大江寺 江村江山ニ在リ眞言宗天平中僧行基ノ開創ニ係ル延喜ノ時徽旨ヲ以テ方七間ノ堂ヲ建立セラル貞享中火災ニカ、リ什器記録類悉ク焼失ス後、僧堯譽之ヲ中興ス土佛參詣記ニ云フ山陰ヲ遠くめぐ

きる入海の方、淡尋糸て江寺と申、觀音の靈地にまゐるは、
石としの盤折ツツラにて、淡比せらき音幽なり、黄葉をさらひてふる紀あ
ぞ、淡尋糸青竹よ携りて、遙なる峯にいふ云々ト其勝地タル知ル可
シ寺記、五
鈴遺體

大神宮寺址 北中村字菩提山ニ在リ、創立年月詳ナラズ、本ト内宮域内
ニ在リシヲ本村ニ移シ、菩提山大神宮寺ト改ム、明治二年寺廢シ、今耕
宅地トナレリ、本寺ニ聖武天皇寄附ノ佛舍利アリシガ廢寺ノ後、三河
國海徳寺ニ移ス古考
口碑

蓮臺寺址 勢田村ニ在リ、古傳ニ云フ、創立年月詳ナラズ、祭主永頼ノ建
立ニ係ルト、明治二年廢寺トナル寺ニ神鏡一面アリ、徑九寸五分八ツ
花形ヲナス、天保中山田足代弘訓文ヲ作りテ之ヲ記ス、今、本村ニ藏ス
西行菴址 溝口村安養山ノ溪、奥字破石ニ在リ、俗、西行谷ト稱ス、今、荒地

ニ属シテ其址ヲ存セズ、五輪塔処々ニ散在ス、保延中僧西行紀伊國高
野山ヨリ此ニ來リ住シ一寺ヲ創立シ安養寺ト号ス今寺ハ
無シ、後、宇治館
町西行谷ニ移居ス五鈴
遺體、坂士佛參詣記ニ詩アリ曰フ

此地空餘山寂寞、昔人去後幾黄昏、
綠蘿菴舊絕、縱跡、只有松風敲寺
門、

西行菴址一名西行谷 宇治館町字岩井田山ニ在リ、保延中僧西行溝口
村安養山ニ住ス、後、此ニ移居ス、元ト古松アリテ諸人愛觀セシガ、今枯
槁セリ五鈴
遺體、芭蕉ノ碑アリ、俳句ヲ題ス曰フ
道乃への木槿は馬よくはれあま

西行

是もまた都のたつみまうろなく山こそかはれ名は宇治の里
谷の戸お獨りそ松は立るあま我のみ友はあきかと思へは

芭蕉菴址 山田船江町大江寺ノ舊址ニ在リ元祿中俳人芭蕉之ニ居ル
手堀ノ井存セリ文化中碑ヲ建ツ高二尺幅壹尺二寸表面ニ翁ノ句ヲ
刻ス曰フ

藪つとき門のむららの若葉かな

原野

瀧原 野後村ニ在リ式内瀧原神社ヲ安ンズ倭姫命世紀ニ大河之瀧
原國ヲ載ス大河ハ阿曾村ヨリ北流シ野後ノ西ヲ歴多氣郡菅合村
ノ東北ニテ大杉谷ヨリ東流スル水脉ト合スルモノヲ稱ス水源四十
八瀧アリ其間廣原ヲナス故ニ名ヅクト大神宮本記
附正抄

一字抄

經信

瀧の原散てきたるゝ花見ればぬひたふあらぬ錦ありけり

明野原 小俣村字明野ニ在リ西湯田野ト伊勢街道ヲ以テ界ス磯野

依有瀧ノ數村ニ跨ル曠原タリ後年開拓シテ耕宅地及ビ山林トナル
モノ少カラズ五鈴選釋
勢國見聞集

讀人不知

月清ミ明野の原の夕露よさゝめ分け來る衣のぬれぬ

津長原 倭姫命世紀ニ云フ御船泊留在志處乎津長原止號支ト宇治今

在家町字津長原アリ蓋シ此ノ地ナラン

神祇百首

度會元長

宮木ひく津長の原比春の雪の心もとけぬ跡をよそとめ

御牧小野 今詳ナラズ或ハ云フ岩出村ノ邊ナリト往古市守長者ナル

モノアリ此ニ住ス三國地誌
勢國見聞集

新名所歌合

荒木田長言

春深き御牧の小野比淺茅生よ松原まめてかゝる藤浪

湯田野 湯田村ノ地ヲ稱ス東方明野ノ原ニ接ス往昔本村及ビ久保上地
數村ニ連リシ荒野ナリ後世漸々開拓シテ概子田圃宅地トナセリ

五鈴遺澤、昔其國誌
勢陽但諺、勢國見聞集

神祇百首

度會元長

贊かけし狩の使の道たえて湯田野ニ鳴此子をうたて、ん

忌楯小野 倭姫命世紀忌楯小野ノ地ヲ載ス今詳ナラズ或ハ云フ高向村

藝原 字上下ノ地ナリト 小野講述抄、舊蹟 御巫清直云フ藝原古ヨリ藝野

ノ稱ナシ小俣村ノ西寒川ノ邊方俗ユダテト稱スル地アリ乃チ遺跡

ナラント 大神宮本
記 歸正抄

濱海

フタミ 二見ノ浦 一ニ蓋見浦ニ作ル又ニ 立石江村ノ北西即チ伊勢海ノ南盡ヲ云フ倭

姫命世紀ニ二見濱御船爾坐子レ時大若子命爾此國名何問給フ白ク速雨

二見國止白支云々ト記ス
即チ是ナリ浦頭ニ立石崎
アリ眺望絶佳ナリ遠クハ
尾、參及ビ本州北部ノ諸山
ヲ雲煙縹渺ノ中ニ見近キハ
危岩怪礁岸邊ニ散在ス風
光明媚縣下名勝ノ第一位
トナスベシ神廟詣拜ノ客
常ニ來遊セリ此地旭日ヲ
拜スルモノ少カラズ毎年
一月一日庶人群集立錐ノ
地ナキニ至ル 五鈴遺澤
勢國見聞集

二見浦ノ圖



金葉

源親房

玉くしけ二見の山北木の間より出れり明る夏乃夜の月

新古今

實方

明らゝた二見の浦よる波の袖のまぬきて沖津島人

夫木

西行

さゝろおほ立石崎の白波の荒き鹽よもかゝる多る哉

遊二見浦二首録一

川井春川

行盡松間數里程、禁岩蹴浪歩愈輕、慚無彩筆収烟景、海水秋天一色

晴

立石 大小二岩海中ニ駢立ス相距ルコト三間其狀門闕ノ如シ大ナルモノ高貳拾九尺周圍百三拾尺餘小ナルモノ高拾貳尺周圍三拾尺餘俗ニ稱シテ注連掛岩ト云フ蒼黑色ニシテ木理紋ヲナス近傍ニ又

鯨石、鼻岩、雞冠岩、屏風岩等アリ

三津浦 一ニ御津浦ニ作ル又三津浦ニ津濱三津凌ト云フ 三津村字鷲森新田ノ地ヲ云フ往昔此邊悉

ク江灣タリ倭姫命舟ヲ此ニ泊ス因テ御津浦ト號ス今概子耕地ニ變

シ五十鈴川ノ派流一條ヲ存ス 勢國見聞集三國地誌

山家集

西行

過る春鹽のみつより船出して浪の花をやさたゝ立らん

蘆浦 松下村ト江村ノ間ヲ稱ス江村川ノ海口ニ屬ス東南山岳ヲ負ヒ

北方海ニ面ス

拾玉

大僧正慈鎮

あしの浦のいとたたくも見ゆる哉浪のよりにて洗のさり見

伊氣浦 松下村ニ屬ス本州ノ東端ニシテ志摩國若志郡小濱村ニ對シ

一江灣ヲナス山巒圍繞シテ風光頗ル佳ナリ灣内魚介會聚シ鱒魚尤

モ多シ毎歲冬春ノ交之ヲ漁ス俗之ヲ鱈橋ト云フ巨額ヲ占ムルモノ
多シ五鈴遣響 勢國見聞集

夫木

讀人不知

松ノ吹伊氣ノ浦風渡るらん浪またよふ浮島のやま

千尋ノ海千尋濱 松下村字神前山ノ北邊ヨリ志摩國荅志郡小濱村ノ海

濱ヲ稱ス蓋シ其海底ノ深遠ヲ名ケシモノナラン南方高山ヲ負ヒ東

北内海ニ面シ風景佳絶ナリ

夫木

元 輔

いせの海千尋の濱此真砂もて君り代も經ん數ハかそぬん

御鹽濱 西村字御鹽田ニ在リ往昔皇大神宮ノ御饌ニ充ル鹽ヲ製スル

地ナリ東西拾九間南北貳拾貳間北面ニ華表ヲ建ツ元ト本郡莊村ニ

アリシヲ後世此地ニ移ス

夫木

鴨長明

二見かた神さひたてる御鹽殿幾千代みちぬ松かけよして

打越濱打越濱松 西村字北濱ノ海邊ヲ稱ス即チ立石ノ西方ニ属ス古

松二株林中ニ挺立ス里人喪服ヲ解クノ時此ニ祓除スト云フ五鈴遣響 勢國見聞集

按内記

新名所歌合

大中臣定忠

奥津浪荒磯ウけて打こしの濱風遠くちどり鳴あり

潮合濱鹽合川 溝口村ニ属ス五十鈴川ノ末流ニシテ分レテ二派トナ

ル往時江村今一色村海口ノ潮水此ニ到リ合流ス故ニ名ヅク神風抄

鹽合御鹽ヲ載ス蓋シ此地ナラン五鈴遣響 勢國見聞集

名寄

鴨長明

二見瀉遠のみあとはいうならん鹽合ハ駒の爪もかくれす

高城ノ濱タカシロ一名長官濱 今一色村海邊ノ地ヲ云フ每歲新嘗祭ノ時外宮禰宜海邊

ニ出デ麻ヲ採リテ不祥ヲ祓除ス此ヲ濱出ト稱ス伊勢參宮按内記三國地誌

鷲取ノ小濱・神社港南小路ノ海濱ニ屬ス今宅地タリ眺望頗ル佳ナリ倭

姫命世紀ニ從ニ忌楯小野ニ幸行波有ニ小濱其処取鷲老在支中其老以ニ寒御

水ニ御饗奉支于レ時讚給水門爾水饗神社定賜支其濱名鷲取小濱號支云

々ト載ス即チ此地ナリ

清渚キヨナギサ 今一色村ヨリ松下村ニ至ル海岸ヲ總稱ス白沙渺々トシテ際ナ

ク風光明媚ナリ二見浦高城濱打越濱等皆其中ニ屬ス此地清淨ニシ

テ能ク不祥ヲ祓除ス故ニ此名アリト云フ五鈴遺響伊勢參宮按内記

後撰 小將内侍

人ハうる心のくほなきさなくて清き渚をいりて過けん

新千載 左近中將義詮

伊勢の海や浪のよるく澄月の影こそ清記渚なまぢれ

奈津ナツ 河内村西南ノ海岸奈津山ノ麓ヲ云フ側ニ三狐神社觀音堂アリ

老杉古松鬱然ムリ又櫻樹ヲ栽ウ前ハ神前灣ヲ隔テ、大洋ニ面シ一

望際ナシ灣内布帆出沒魚歌互ニ答フ春時風景尤モ賞スベシ

村松ノ岸 村松村ヨリ東大淀村ニ亘ル海畔ヲ云フ

夫木 齋宮越前

蟬貝の音うときけハ村松の岸うつ浪のひゝきなりまぢ

祓島ハラヒシマ一名祓崎 松下村ノ東北端ヲ距ル壹町許ノ海面ニ突出ス巨巖相連リ

以テ坐臥スベシ潮時ハ之ヲ沒ス每歲六月十五日陰曆内宮ノ禰宜等此

ニ至リ荒峯海松ヲ取り月次祭御饗ニ供ス之ヲ荒峯ノ御贄ト云フ島

中御座石、魚盤石、笏立石等アリ皆神事ニ用フルニ由テ名ヅク事ハ内

宮年中行事ニ詳ナリ五鈴遺響古老口傳

宿^{ヤトリ}島 三津村字内座新田ニ在リ相傳フ倭姬命天照大神ヲ奉ジ此ニ宿
リ玉フ故ニ此名アリ今ニ至リテ里人之ヲ尊敬シ其土ヲ踏ムヲ忌ム
ト云フ勢國見聞集
古老口碑

神祇百首

度會元長

二見瀉宿島かけて立千鳥いともかしま志心してあま

園林

朝熊森 今詳ナラズ朝熊村字門河原ノ地往昔ヨリ原野タリ蓋シ此邊
ナラン或ハ云フ晝川村ノ地ナリト勢國見聞集
古老口碑

夫木

宗尊親王

いかゝせんかゝるうき世も楞さくあさまの森此あさましの身や
清水森 今詳ナラズ一説ニ朝熊村ヨリ三津村ニ至ル坂路ニ沿フ田間
ニ小林アリ其中清泉涌出シ大旱ト雖モ涸レズ是レ其舊址ナラント

或ハ云フ宇治ノ邊ナリト

五鈴遺傳集
勢國見聞集

新名所歌合

大中臣定忠

手よむすふ清水此森も夏あしと思ひもそてぬ時鳥かな

興^{オキダマ}玉森 北中村月讀社ノ南ニ在リ樹木鬱茂ス傳ヘ云フ古昔猿田彦命
此ニ棲居ス天照大神ノ鎮座シ玉フニ由リ遂ニ退キ去ル後人華表一
基ヲ其址ニ建テ祭祀スト又云フ境内古ヨリ松樹ヲ植エズ植ウレハ
乃チ枯朽ス蓋シ命此ニ在リ大神ヲ待ツコト久シ待松國音相通ズル
ヲ以テ之ヲ嫌忌セラルノ故ナリト五鈴
遺傳

釣釜森 江村字沖濱新田ニ在リ里人傳ヘ云フ此地往昔灣中ノ小嶋ナ
リ後世變遷シテ耕地トナレリ中央一老松ヲ存ス圍拾三尺地ヲ拔ク
七尺餘ニシテ十二幹ニ分ル頗ル奇觀ナリ俗稱シテ釜屋ノ松ト云フ
龜ガ森 朝熊村字龜ガ森ニアリ小丘ヲナシ樹木叢生ス其狀龜ノ如シ故

ニ名ツク俗ニ男龜ト稱ス之ヲ距ル半町又一丘アリ樹木ナシ女龜ト稱ス五鈴

皇女森 楠部村字西洞ニ在リ古老傳ヘ云フ垂仁帝ノ時倭姫命皇大神ヲ家田田上宮ニ祀リシ時大田命大宮所ヲ奏上セシ処ナリト

谿 淵

鏡ガ淵 五十鈴川ニ在リ今詳ナラズ傳ヘ云フ正治中小朝熊宮神鏡ヲ失ヒシヲ寛喜二年稻荷山ニ得歸座ノ時此地ニテ拜ス故ニ名ツクト三國地誌

勢陽

神祇百首

度會元長

おし鳥のかゝみり淵まかけを見て一番ある床をしめつゝ

長者チヨウシヤ淵 岩出村字瀬山宮川ノ傍ニ在リ水底極メテ深シ里人云フ往昔近傍山谷中ニ數百株ノ漆樹アリ樹脂滴リ落チテ此淵底ニ沈ミ年ヲ

經テ一大塊トナレリ市正長者ナルモノアリ之ヲ獲テ巨利ヲ得他人ノ已レニ倣ハンチ恐レ蛇形ヲ模造シ之ヲ沈メ詐テ真蛇ノ棲メルトナシ獨リ其利ヲ占メントセシニ其蛇真龍トナリテ長者ヲ害シ其家産衰亡ス故ニ名ツクト荒唐笑フベシ

止鹿トシカ淵 鹿海村ニ砥鹿淵神社アリ蓋シ此邊ナラン倭姫命世紀ニ從ニ其處ニ幸行神淵河原中坐波苗草戴者女參相支問給何如是問給止止可賣白支其處乎止鹿乃淵止号支云云ト記ス即チ是地ナリ

洞 窟

高倉山ノ窟 高倉山上ニ在リ巨石ヲ以テ之ヲ疊ム傳ヘテ大巳貴命天日別命ノ居所トナス元ト小祠アリ神宮ヲ拜スル者天岩戸ト稱シ之ニ詣ヅルチ例トス維新後其祠ヲ毀チシヨリ登山スルモノ稀ナリ

金槐集

鎌倉右大臣

いよしへの神代のかげを残りける天の岩戸此明かたの月

押淵岩窟 押淵村字鬼カ城ノ山麓ニ巖窟アリ口狭ク内廣シ幅六間深
四間餘高九尺ヨリ六尺ニ至ル相傳フ往昔一賊アリテ之ニ住ス常ニ
本郡某村ノ市場ニ松苗ヲ鬻ク一日窟中ヲ窺フモノアリ賊人肉ヲ食
ヒ酒ヲ飲ム土人見テ怪鬼トナシ其醉臥スルヲ待チ火ヲ放テ之ヲ燒
殺スト云フ

巖窟^{シツレ}水穴^{又三光坊ノ} 下村巖窟ノ半腹ニ巨大ノ巖窟アリ窟口尤モ窄ク
深奥數十尋清水其中ニ充チ大早ト雖モ涸レズ窟中暗黒ニシテ蝙蝠
多ク棲メリ里人傳ヘ云フ往昔山田世義寺ノ僧此ニ修法スト往々敗
壞セル佛軀又ハ土器ヲ得ルコトアリ奇巖ト云フ可シ
ヨメヌ穴 五ヶ所浦字岡山畑ニ在リ徑二間深六尺餘圓形ノ陷落地ナ
リヨメヌ穴ノ稱詳ナラズ文祿檢地帳ニ此邊ヲ悉見のゝあかいとト

記セリ往昔ヨリ數度陷沒ス明治十四年貳丈餘陷リシ處アリト云フ

池 泉

御池^{一名御川} 外宮宮城ニ在リ上中下ノ三處アリ是其中ノ池ニ屬ス往
昔此水ヲ以テ詣拜者ノ盥漱ニ供スルコト内宮五鈴川ノ手洗所ノ如
シ後年奉行桑山某更ニ手洗場ヲ新設シテ池水ニ代ヘシト云フ^{五鈴}
大楠池^{俗ニオホズ池ト稱ス王孫} 山田古市町ヨリ朝熊山ニ至ル徑路ノ側ニ
在リ傳ヘ云フ往昔一大樟樹アリ枯倒シテ池中ニ埋沒ス延寶中大早
ニテ池水涸渴ノ時池底ニ巨木ノ偃臥スルアリ今尙水底ヨリ朽根ヲ
得ルコトアリト或ハ云フオホズハ大洲ノ意ニシテ往昔五十鈴川流
域此處ヨリ西北ニ流レシニ後世洪水ノ爲メ水派變遷シ乃チ其川床
沼池ヲナシ多ク砂積ノ洲ヲ生ゼシヨリ此名ヲ存セシナラント并記
シテ參考トス^五
^遺
^壺
^鈴

忍穂井オホホ 山田藤岡山ノ麓ニ在リ傳ヘ云フ往昔此水日向國高千穂峯ニ在

リ後丹波眞那井ニ移シ雄略天皇ノ時更ニ今ノ地ニ移スト古屋草紙 勢陽傳誌

風雅 度會家行

かじほ井をけふ若水ニ汲初てみあへ手向る春のきにけり

御政印井 宇治錦町ニ在リ五鈴遺響ニ云フ往昔廳宣及宮掌内人ノ職

掌下文ニ押スル印壓ハ此井水ヲ汲ミテ宮域ノ赭土ニ和シ以テ押捺

セリ故ニ常ニ汲ムヲ禁ズト

静井一名 婆 磯村ノ東方民家ノ傍ニ在リ口徑三尺小石ヲ以テ之ヲ疊

ム繞ラスニ板塀ヲ以テス來リ汲ムモノ多シ土俗磯村ノ地名ニ附

會シ静ヲ此地ノ人トナシ説チナス笑フベシ

井足清水一名 井 宮崎文庫ヲ距ル三町許ゴセ坂ノ下ニ在リ長三間幅

七尺大旱乾涸ノ患ナク淋雨又溢ルニ至ラズ名泉ト稱ス尤モ茶湯ニ適

ス此地飛螢殊ニ多ク夏時涼ヲ納ルモノ常ニ絶エズ勢陽傳誌 勢陽見開集

大湊忘井址 大湊字忘井山ニ在リ里人云フ往昔鸞取翁ノ倭姫命ニ汲

ミテ奉リシ清水ノ跡ナリト徑三尺深拾尺餘石ヲ以テ疊ム清泉今尙

涌出ス

蓮華水一名 大 山田梅香寺境内ニ在リ傳ヘ云フ往昔僧空海神宮ニ詣

テ此水ヲ以テ其身ヲ祓ヒ神殿ノ圖ヲ摸寫セシト里人來リ汲ムモノ

多シ勢陽見開集

長命水 宇治櫻木町延命地藏堂ノ舊址ニ在リ頗ル清泉タリ延命地藏

ノ名ヲ附會シテ此名ヲ附セリ此地長峯山廣嚴寺ノ址ナリト云フ

五鈴遺響

樹石

百枝松モ、エ 内宮社前ニ在リ今詳ナラズ水左記ニ承保三年三月八日申時

伊勢大神宮御前百枝松顛倒ノ事ヲ記ス蓋シ當時枯槁セシナラン坂
士佛參詣記ニ内宮二ノ鳥居迄詣テ拜スルニ山下松クラクシテ百枝ノ
梢ハ何レモ辨ヘガタク云々トアリ是社頭ノ神樹ヲ通稱セシモノニ
似タリ未タ是ナルヲ詳ニセズ勢陽四誌、五鈴遺
勢陽四誌、五鈴遺

風雅

土御門小宰相

神路山も、枝の松もさらまた幾千代君もちきりおくらん

拾遺

荒木田成定

神垣や百枝の松もちきりおくらん葉こども恵あるへし

大淀ノ姫松 東大淀村字大濱ニ在リ傳ヘ云フ倭姫命屢々此ニ至リ海邊
ノ景ヲ賞ス後人爲ノニ松樹ヲ植エ之ヲ識ス姫松ト稱ス万治中枯槁
ス今海濱ニアル松林蓋シ其遺址ナラン大淀浦名勝
志、背書國誌

拾遺

源兼隆

大淀の御祓幾世も成ぬらん神さひわたる浦の姫松

詩繪マキエ

江村ト三津村ノ海邊松原ヲ指ス風景畫ノ如シ故ニ此稱アリ

或ハ云フ此地山脈江灣ヲ擁ス因テ纏江ト名ヅクルヨリ轉稱セシナ

リト伊勢參宮按内記、三
國地誌、勢國見聞集松樹枯槁シテ其跡ヲ存セズ一説ニ一色村ト西村
間ノ松原ヲ指スト又

江村字江山大夫坂士佛嘗テ此ニ遊ビ詩アリ曰フ

浦松似畫夕陽裏、老眼摩挲費苦吟、水自細流通海派、波横三万頃

列天心、雲晴雲起山高下、潮去潮來月淺深、六十餘年漂泊處、江湖

風景不如此、

金葉

大中臣輔弘

玉くしけ二見乃浦此貝まけと詩繪よとゆる松の村立

姫小松 江村三津村ノ界耕圃ノ間數株ノ松ヲ存ス高拾尺ニ出デス幾

多ノ星霜ヲ經ルモ尙稚樹ノ狀ヲ呈ス風致限リナシ故ニ名ヅク

文應二年百首

爲家

二見瀉千年の松も名をとめて神や子の日に引始めけん

大夫松 ダイニョウ 江村字江山ニ在リ往昔一大老樹ナリシガ寛政中枯槁シテ今

存スルモノハ新樹タリ此松數説アリ或ハ云フ仁木義長左京大夫ト

稱ス嘗テ之ニ居ル故ニ名ヅクト或ハ云フ此樹元ト山上ニ挺立シ海

舶ノ口標トナレリ故ニ航海者遠ク此樹ヲ望ミ伊勢大夫大夫ハ當時神

ノ居所ナリト呼ビシニ起因スト後説或ハ是ナラン五鈴

富士見松 朝熊村ヨリ朝熊山ニ登ル坂路ノ半腹字中之地藏ニ在リ朗

霽ノ日此處ヨリ遙ニ富士山ヲ見ル故ニ名ヅク五鈴

相摸取松 東宮村字豆方ニ古松二株アリ路ノ兩側ヨリ崛起シ枝幹相

交リ互ニ撲ツモノ、如シ因テ此名アリ樹間人馬ヲ通ス殊ニ奇觀ナ

リ傍ニ又一株アリ之ヲ行司松ト稱ス

子富松址鷲取翁宅址 大湊字中里町ニ松樹一株アリ俗子富松ト云フ昔

時小祠アリシガ今ハナシ傳ヘテ此地鷲取翁ノ舊址トナス婦人子ナ

キモノ此ニ祈レバ驗アリト云フ

鯛釣松址 神田久志本村字鯛釣松ニ在リ傳ヘ云フ往昔大神宮御厨ノ

地ナリ後年洪水ノ時民居湮没シテ湖沼等トナリ湖水勢田川ヨリ浸

入シ常ニ漁獵ニ充ツ老松一株アリ故ニ名ヅク明歴中既ニ古本タリ

シガ寛政中枯槁スト勢陽里跡 五鈴遺跡

五百枝杉 外官境内ニ在リ號シテ神木トナス今詳カナラズ或ハ云フ

境内一山ノ杉樹ヲ總稱スト三國地誌、五鈴遺跡、伊勢參 宮按内記、度會常彰齋居逆

神祇百首

度會元長

神風や五百枝の雪此春よ來て杉のまゐるまのすこし見えつゝ

家集

北畠國永

千とやふる山田此原の松杉も五百枝の姿そのまゝにして

千枝チサキ杉シラカシ俗ニ四本ト云フ

外宮一ノ鳥居ヨリ南凡ソ壹町許風宮ノ東方ニアリ傳

ヘ云フ往古祭主千枝氏ノ植ウル所タリ故ニ名トス祭主ニ千枝ノ名見

大中臣千枝ア正保中暴風ノ爲メニ損シ纔ニ一株ヲ存スト勢陽御説伊勢

リ蓋シ是レカ

新續古今

勝定院贈太政大臣

世を守る神のしるし今も猶茂る千枝の杉此下かけ

新開梅一名臥龍梅

新開シカガ村

舊祐善庵庭中ニ老幹貳拾株許アリ春時紅白燦

爛タリ來リ觀ルモノ少カラズ五鈴遺響ニ云フ往昔菅原道真神廟ニ

祈願アリテ築紫ノ配所ヨリ梅核兩顆ヲ其從士刑部師親ニ附シテ此

地ニ播カシム後繁延シテ名木トナル康安中僧祐善此ニ一庵ヲ結ビ

賞愛セシト一説ニ云フ駿河奥津清雲寺ノ種子ヲ移セシモノナリト

孰レカ是ナルヲ知ラズ山田杉本光貞室ノ俳歌ニ

いろくの繼木小袖の梅此花今をさゝるごと來て見ぬいなし

鷺日山櫻 前山村字シウレイ山上ノ櫻樹ヲ云フ

神祇百首

度會元長

まればこ乃うへ見ぬ鷺日山さくら神代の春は花よのこれり

前山櫻 前山村字龜谷郡及ビ中尾ニ在リ數十株ヲ駢植ス花時山田市

街ヨリ遊賞スルモノ尤モ多シ

本居宣長

あら玉の年のやとせを待こひし前山櫻けふ見つるりも

屋根櫻 豊宮崎文庫城内ニ在リ數株ノ古櫻立春後六十日ヲ歷テ開花

ス近傍遊觀スルモノ極メテ多シ度會延佳ノ文庫ヲ創建スルヤ該家

ノ屋上ニ櫻苗ヲ生ズ延佳之ヲ異トシ此ニ植ウ巨樹トナル後其蘖芽

ヲ移植シテ益々蕃殖ス今存スルモノ是ナリ勢國見聞集 古老口碑

小津久足

近よればまはゆきまてと咲たつは神の光りや花よそふらん

糸櫻 山田舊威勝寺境内ニ在リ花時來遊スルモノ多シ五鈴遺響 勢國見聞集

小津久足

たゞひとり見んとおもふてあやよくぎくる人まけき糸櫻の影

清盛楠 外宮宮域ニ在リ往昔平清盛勅ヲ奉ジテ參宮ス枝葉下垂シ其

冠纓ニ觸ル命ジテ其枝ヲ伐ラシム因テ此名アリ或ハ云フ其子重盛

參向ノ時之ヲ伐リシト五鈴遺響 勢國見聞集

八重楠 内宮宮域ニ在リ鳥居ノ左右ニ附着ス事ハ儀式帳ニ詳ナリ

御集

後鳥羽院

神風や八重の楠葉かさ絡てもみもすそ川の末をふけき

常柑子 トコナラジ 黒瀬村橘神社ノ東邊ニ柑樹一株アリ高丈餘四面牆ヲ繞ラス

傳ヘ云フ往昔興福寺橘實ヲ京師ニ貢スルノ例アリ一歳實ラズ因テ

此實ヲ摘リテ貢セシト勢國見聞集 古老口碑

萬葉

聖武天皇

橘花者實左倍花左倍其葉左倍枝爾霜雖降益常葉之樹

拾玉

僧 慈鎖

此頃を伊勢と知る人れとつきてたよりいろある花かふしかぬ

三角柏 ミカシハ 土貢島ニ在リシト云フ往昔此地ノ柏ヲ神官ニ獻ズ毎年七月

陰風官ニテ柏流シノ神事ヲ行フ其浮流スルヲ見テ豊年トシ沉流ス

ルヲ凶年トセリ勢國見聞集

藻盤草

僧 寂阿

おもふ事とく此ましまの長柏ならくを頼むひろきめくまぬ

伊勢濱萩 三津村ノ南方字濱萩田圃中ニ在リ濱萩ハ本州蘆ノ方言ナ
 リ傳ヘ云フ往昔此邊総テ江灣ニ属シ多ク蘆ヲ生シ其名世ニ高カリ
 シガ漸次開墾シテ今僅ニ一部ヲ存ス蘆葉皆片葉ナリ片葉ノ蘆各州往
 テ異トスルニ足ラズ或ハ云フ濱萩ハ本州海濱ノ蘆ヲ總稱スルモノニ
 シテ此地ヲ指スニ非ズト五鈴
 遺習

萬葉

コダシク 恭禮越往伊勢國時留妻作歌一首

神風之伊勢乃濱萩折伏容宿也將爲荒濱邊爾

千載

藤原俊基

あふら夜をいせの濱萩折しきて妹こひしらふ見つる月哉

新古今

越前

幾夜うは月をあこれとなりめ来て浪も打しくいせの濱萩

石壺 内宮第三鳥居ノ左右ニ在リ右ハ勅使官司左ハ玉串大内人等ノ

席トス延喜式ニ謂フ所版位ナル者是ナリ往昔八箇アリシガ後増加セ

リ五鈴
 遺習

荒木田延成

柿もて八つの石壺ふみあらしきみをそぬれるうちの宮人

倭姫命坐岩 鹿海村字新田五十鈴川ノ岸ニ平面ノ岩石突出ス長六拾

尺幅四拾尺俗呼テ御坐岩ト云フ倭姫命世紀ニ從ニ御津浦幸行爾小島

在支其嶋坐兵山末河内平見廻給仁云々ト記ス即チ是地ナリ

鷓鴣石一名百
 葉石 南中村字井口ニ在リ巨岩山腹ニ屹峙ス高壹百尺餘幅

貳百尺餘蒼黑色ヲ帶ブ之ヲ距ル數十歩一石アリ語り石ト名ヅク平

垣ニシテ數人ヲ坐スベシ巨岩ニ對シテ言語歌呼セハ直チニ之ニ應

ジ其清濁疾舒毫モ差ハズ唯笛簫ノ聲ハ應ゼス始メ里人之ヲ知ルモ

ノナシ往年二三樵夫山中ニ入り笑語ス岩中聲アリ相應ズ驚怪逃レ
 去ル後又往テ之ヲ試ムルモノアリ遂ニ其實ヲ得タリ因テ此名ヲ付
 ス享保中伊藤長胤、奥田三角ト此地ニ來遊シ詩及ビ記文アリ靈元上
 皇畫工ヲシテ之ヲ屏風ニ畫キ長胤ヲシテ之ヲ序セシム爾來其名特
 ニ高ク遠近來觀スルモノ甚ダ多シ勢陽但諺五鈴遺傳伊勢考古錄勢國見聞集
 乙女岩 川上村字上木ニ在リ一巨岩タリ高貳百尺方三間許平面ニシ
 テ紋理アリ疊席ヲ敷クニ似タリ傳ヘ云フ往昔倭姬命天照大神ヲ奉
 シ此地ニ至ル時暫ク此石上ニ憩ヒ玉ヒシト勢國見聞集五鈴遺傳
 退石 スヤリシ 三津村字南浦ノ山腹ニ在リ圓形ノ巨石ナリ俗傳ヘ云フ豊年ニ
 ハ此石動テ前ニ進ミ凶年ニハ動テ後ニ退クト
 猿田彦石 猿田媛石 江村字奥條五十鈴川岸邊ニ在リ高拾尺周圍拾貳
 間餘蒼黑色ヲ帶ブ猿田彦ノ名其故ヲ知ラズ前岸松下村字北浦新田

ニ亦巨石アリ形狀之ト相類ス猿田媛石ト稱ス三國地誌古老口碑
 鳥帽子岩 破石 溝口村字鳥帽子岩ニ二石アリ其形冠帽ノ如シ一ハ直
 立ス之ヲ立鳥帽子ト名ケ一ハ横臥ス折鳥帽子ト名ク高各五尺許又
 字豆石山ノ西麓汝合川ノ水際ニ破石ト稱スルアリ巨岩其半ニシテ
 破裂ス故ニ名ツク勢國見聞集古老口碑
 興玉石 江村立石崎ヲ距ル八町許ノ海中ニ在ル一大暗礁ナリ周圍拾
 町許往年礁頭ヲ水上ニ出ダヌ安政海嘯以後崩壞シテ見エズ里人猿
 田彦ノ靈トシテ之ヲ崇敬ス蓋シ興玉ハ渙魂ノ意ニシテ海洋ノ神靈
 ヲ稱スルモノナラン
 曼陀羅石 山田倭町字旭ニ在リ大小五基アリ大ナル者高八尺五寸幅
 九尺小ナルモノ高五尺幅六尺梵字アリ剝落シテ讀ムベカラズ五鈴
 遺響ニ云フ赴处处ノ悉曇三字ヲ刻シ傍大同二年空海刻之ノ字アリ又

近傍山中古瓦ヲ出ダス皆經文ヲ刻ス承安四年月日ヲ記スルモノアリ山田威勝寺山唐溪ノ地ヨリ出ルモノト年紀相同シ其緣由詳カナラズト

鏡石一名鮑石、碁盤石、神足石

宇治今在家町字鏡石ニ在リ宇治橋ヨリ五十鈴川上ヲ溯ルル拾八町許

高三間餘幅五間中間平面ノ處最モ光澤アリ物態ヲ寫ス鏡ノ如シ故

ニ名ヅク此他川上ニ鮑石、碁盤石、神足石等アリ共ニ著名トナス勢國見所圖繪

勢國見所圖繪

西行戻リ石 五十鈴川上ニ在リ巨巖相重リ水清ク苔滑カニ山間ノ景幽

邃ヲ極ム傳ヘ云フ西行此處ニ到リ景致之レニ若カズトナシ他ヲ尋

子ズシテ返リ去ル因テ名ヅクト勢國見所圖繪

葛籠石 宇治中ノ地藏ニ在リ高八尺餘長貳拾尺許相重リテ葛籠ノ如

シ故ニ名ヅク麥林俳句ニ曰フ

出クミリの神もありてや葛籠石

千引石 湯田野ヨリ離宮院舊地ニ到ル古道ノ傍ニ在リ長拾尺餘祠ヲ

建テ之ヲ祀ル千引磐石ノ名日本紀和名抄等ニ出ヅ此名因テ基ク所

ナリ或ハ云フ田丸彈正少弼田丸城ヲ築キシ時其土工ニ供セントセ

シニ搖カス能ハズシテ止ミタリト五鈴遺響 勢國見開集

家集

俊頼

若かため湯田野を分けて拾ひつる千引の石は誰か逢へき

金剛寺址石 山田船江町舊ト金剛寺天神祠ノ壇上ニ巨石アリ幅六尺

許青蒼色ヲ帶ブ傳ヘ云フ往昔度會春彦菅原道真ニ從ヒ太宰府ニ赴

カントシ道播磨ニ至ル袖ガ浦ニテ一小石ヲ拾ヒ之レヲ懷ニス還ル

ニ及ビテ此處ニ置ク後長シテ今ノ如クナリシト水寺 撰記

行宮址

離宮院址 二處アリ一ハ山田宮ミヤヅリ後町字平尾ニ在リ今東西七間南北八間許ノ丘墳アリ里人山ノ神ト稱ス鎮座本記ニ云フ泊瀬朝倉宮御宇天皇雄略廿二年秋七月中略從丹波國吉佐宮遷幸倭國宇太乃宮御一宿坐云々次伊勢國鈴鹿神戶御一宿次山邊行宮御一宿次遷幸度相沼木平尾興子行宮天三箇月坐焉号今爾處一名離宮也云々ト即チ此地ナリ孝德天皇ノ時多氣郡葦村字鳥墓供村ト有鳥ヨリ神序チ此地ニ移シ以テ御厨又大神官ト稱シ神領ノ諸事ヲ執行ス延曆十六年八月宣旨ニ依リ本郡小俣村舊ト羽西ニ移ス屢々洪水ノ難アルヲ以テナリ一ハ小俣村字離宮山舊ト羽西ニ在リ式内官舍神社ヲ祀ル南ハ離宮川ニ接ス域内老樹多シ初ノ山田宮後町舊ト沼木ニ在リシヲ延曆十六年八月詔勅ニヨリ此地ニ遷ス天長元年九月多氣郡齋王宮ヲ此ニ合ス承和六年十一月齋宮火ヲ失シ百餘宇燒燼ス尋デト定シテ舊地ニ

復ス此地往昔齋内親王ノ別宮諸司ノ官舍アリ齋王及ビ勅使此ニ宿シ兩宮ノ參拜ヲナセシト云フ皇大神宮儀式帳五鈴遺書伊勢參宮按内記

城砦及宅址

田丸城址城ニ玉丸田丸町ノ西部ニ在リ今一等官林地タリ石壘尙存ス神鳳抄載スル所玉丸御園ノ地是ナリ中世ニ至リ愛洲氏此ニ居ル古記ニ延元三年七月玉丸城軍勢等寄來宮田村放火之間忠緒朝臣宿所炎上云々又興國三年八月宮方ハ勢州田丸ノ城ニタテ籠ル高土佐守師秋是ヲ攻落ス云々ノ族類之ニ居リシカ其後北畠政郷ノ庶長子政勝出デ、愛洲忠行ノ後ヲ承ケ田丸氏ト稱ス子孫相繼テ住ス應永廿一年九月本宗北畠滿雅兵ヲ舉ゲシ時其族之ニ據リ以テ足利氏ニ抗ス具直一ニ直昌ニ至リテ天正三年本郡岩手城ヲ築キ之ニ居ル既ニシテ信雄大河内城ヨリ本城ニ移ル是ニ於テ具教及ビ其族類ヲ殺シ遂ニ北畠氏ヲ滅ス八年本城燒失シテ一志郡細頸城ニ移ル十二年具直又來リテ之ニ居ル後

蒲生氏郷ニ從ヒ陸奥ニ移ル爾後生駒牧村等諸氏ノ所管トナリ慶長五年稻葉道直岩手城ヨリ來リテ之ニ居ル元和元年藤堂高虎ノ所管トナリ五年八月徳川頼宣ノ領地ニ歸ス其客臣久野宗成之ヲ守リ世襲ス明治維新ニ至リ城廢ス多氣縣、背書國誌、田丸城治平考

岩手城址一ニ岩出城ニ作ル 岩出村字城ニ在リ今耕地トナリ濠址ヲ存ス天正三年田丸具直城ヲ築キ田丸城ヨリ移リ居ル十二年再ビ田丸城ニ復ス尋テ牧村利貞代リ居ル利貞文祿中朝鮮ノ役ニ没シ子牛之助尙幼ナリ稻葉道直其姻戚ヲ以テ之ヲ管シ後遂ニ之ヲ領ス慶長五年田丸城ニ移リ城廢ス背書國誌、古老口碑

野後城址 野後村字河原ノ山上ニ在リ周圍濠址アリ雜木茂生ス里人云フ北畠具教三瀬城ニ居リシ時支城ヲ此ニ設クト或ハ云フ本村往古瀧原宮ノ社領タリ文祿三年豊臣秀吉始メテ之ヲ蒲生氏郷ニ與フ其

以前武家ノ領トナリシコトナシト古老口碑孰レカ是ナルヲ知ラズ

阿曾城址 阿曾村字片山ニ在リ雜木茂生ス戰國ノ時阿曾彈正忠一本ニ大内山

但馬守ニ作ル之ニ居ル北畠氏ニ屬ス永祿十二年大河内城ノ役國司具教ニ從ヒ籠城ス天正四年北畠具親ニ從ヒ飯高郡森城ニ戰死シ城廢ス五鈴遺壘、多藝錄

一、瀬城址 南中村一説ニ云フ、脇田村ニアリトニ在リ天正中田丸具直北畠信雄ノ命ニヨリ本郡岩手城ヨリ此ニ移ル其子具良繼テ居ル州人一瀬御所ト稱ス按ズルニ吉野日記ニ曰フ建武四年四月尊氏細川和氏ヲシテ公家領ヲ貶ス尊澄親王勢州一ノ瀬山ニテ詠歌アリ云フ深山をはひとりな出そ月とよき夜我もまやこの人の待らんトサレハ當時此ニ城ヲ設ケ後北畠氏ノ所領トナリテ之ヲ田丸氏ニ與ヘシモノカ記シテ後稻ヲ埃ツ五鈴遺壘

愛洲城址 重明宅址 五ヶ所浦字城山ニ在リ平坦ニシテ雜木茂生シ天守
 臺濠壘古井ノ址ヲ存ス古老傳ヘ云フ中世愛洲氏之ニ居ル重明ノ時
 北畠具教ト戦ヒ天正中城陥ルト或ハ云フ重明北畠氏ノ女ヲ娶リ既
 ニシテ京師ノ舞妓ヲ寵ス遂ニ北畠氏ト隙ヲ生シ其滅ス所トナリ志
 摩迫子村ニテ自殺スト此地ヲ距ル凡ソ二町五百坪許ノ耕地アリ是
 レ重明ノ宅址ナリト云フ

下村城址 愛洲城址 伊勢路村字シモデニ在リ下村掃部之ニ居ル又字
 西行谷ニ城址アリ傳ヘテ愛洲内膳正ノ居城トス永祿中北畠具教ノ
 爲メニ滅サル近傍ニ淵アリ俗萬女郎淵ト稱ス愛洲氏ノ夫人投身シ
 テ死セシ處ナリト云フ

脇出城址 脇出村字城山ニ在リ今森林トナリ八柱神社ヲ祀ル傳ヘ云
 フ愛洲太郎判官ナルモノ紀伊國熊野ヨリ到ル僧明雲其徒ト謀リ海賊

ヲ防ガンガ爲ノ奉ジテ本城ノ主トナスト或ハ云フ北畠氏ノ臣向井
 將監之ニ居ルト 勢國見聞集 伊勢考古錄

大内山城址 大内山村字川口前ニ在リ永祿中大内山但馬守之ニ居ル
 北畠氏ニ從フ後人廢址ニ其靈ヲ祀リ大内明神ト稱ス

村山砦址 山田常盤町字城山ニ在リ高大約壹百尺山上平坦ナリ山海
 ノ景目睫ニ集リ風景愛スベシ文明八年十月宇治ノ役村山武則國司
 北畠氏ノ兵ヲ拒ガントシテ砦ヲ設ク後廢ス 五鈴遺響 古老口碑

仁木砦址 三津村字内座山ニ在リ山上平坦ニシテ礎石ヲ存ス傳ヘ云
 フ正平中仁木義長本州ノ守護トナリ長野城ニ據リ神領ヲ侵掠セン
 トシテ砦ヲ此ニ築クト安政四年村人此地ヨリ刀劍及ビ古瓦器等ヲ
 堀出セシコトアリ

伊勢義盛宅址 今詳ナラズ里人傳ヘ云フ義盛本郡江村ニ生ル今三津

村字東山舊ト常泉寺ハ其嘗テ習學スル處ナリト同所ニ巨石アリ中央
凹處常ニ水ヲ溜ス之
石ヲ義盛ノ
ト稱ス五鈴遺響ニ云フ義盛父俊盛ハ三重郡福村ノ人義盛早ク父
ヲ喪ヒ伊賀ニ到リ中井某ニ倚リ生育シ後二見郷ニ流落シテ江三郎
ト稱シ或ハ鈴鹿山ニ潛伏シテ燒下小六ト稱ス後上野國荒蕪郷ニ潛
居シテ其主義經ニ遇ヒ伊勢三郎義盛ト稱ストサレバ其本村ニ在ル
モ一時ノ寄寓ニシテ生誕ノ地ニ非ルヤ明ケシ記シテ參照トス
林雜記ノキ及乾兵部宅址 金輪村字西ノ浦ニ在リ竹篠叢生ス古井ニアリ
里人云フ北畠氏ノ臣林雜記之ニ居リシガ天正四年具教ニ從ヒ三瀬
城ニ自殺スト又字山端ニ乾兵部ノ宅址アリ山林トナリ礎石僅ニ存
ス相傳フ天正中北畠氏ト共ニ滅ブト其子孫今本村ニ在リ

古墳

後白河院塔、北畠顯家塔

結城宗廣墓、僧月波墓 共ニ山田吹上町舊ト光明寺境内ニ在リ

後白河院塔 塔高凡ソ三尺極ノテ古致アリ塔前ノ貞石ニ後白河院

諱雅仁鳥羽院第四子也嘉應(此處欽損)六月七日落飾法號(此處欽損)建久三

壬子(此處欽損)十三日崩矣ノ四十字ヲ刻ス蓋シ天皇嘗テ堂宇ヲ修覆

アリシヲ以テ寺僧恩謝ノ爲ノニ之ヲ建シモノナラン(勢國見
冊集)

北畠顯家塔 塔高凡ソ四尺五輪形ヲナス顯家ノ事史傳ニ詳ナリ塔

前ノ貞石ニ奥州國司鎮守府將軍北畠源中納言顯家卿延元三戊寅

五月廿二日於泉州境安部野討死年廿一歲也ノ四十二字ヲ刻ス蓋

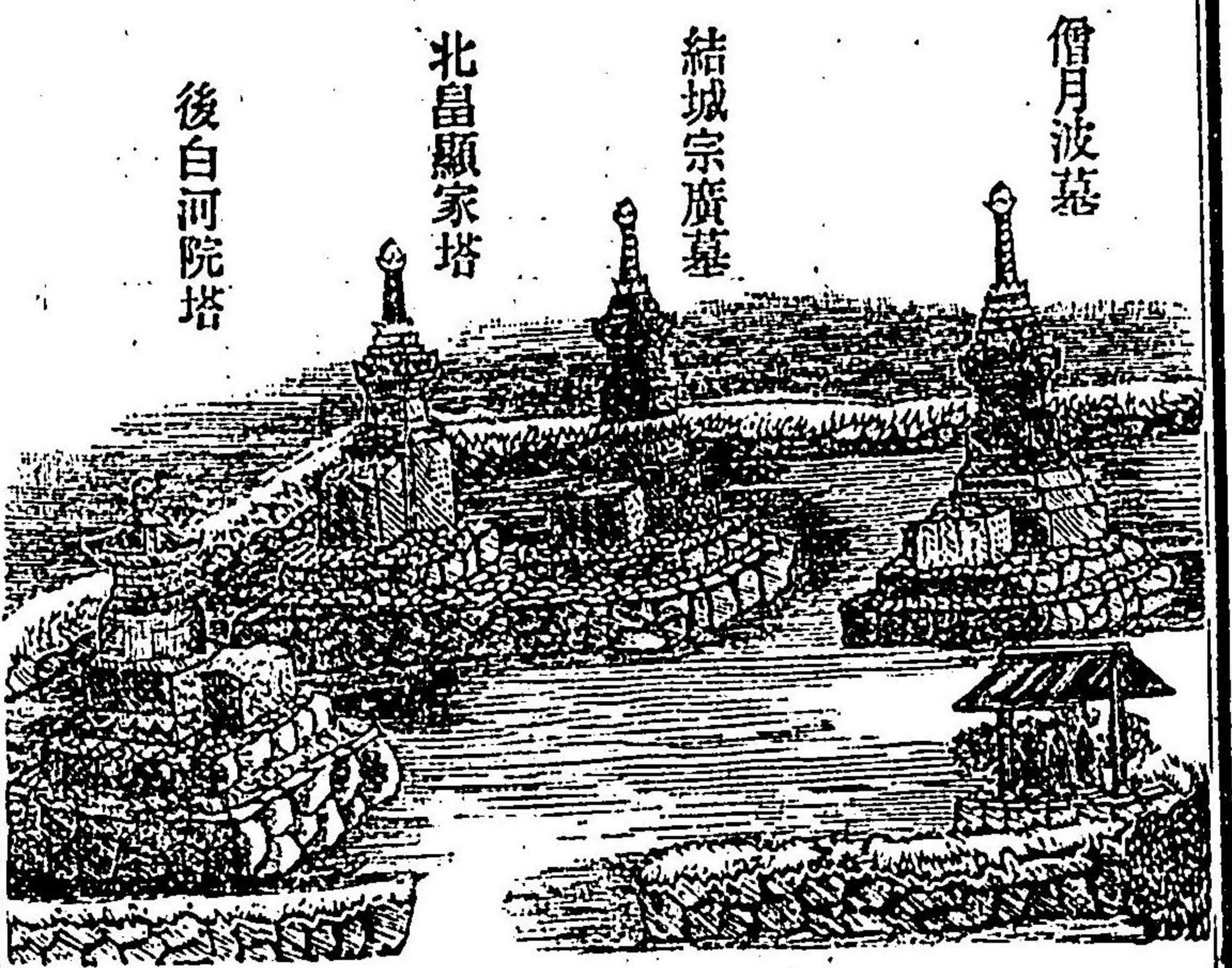
シ南朝遺臣ノ建テ、其義ヲ表セシモノナラン或ハ云フ結城氏ノ

族之ヲ建立スト(勢國見
冊集)

結城宗廣墓 塔高形狀顯家塔ト相類ス墓前ノ貞石ニ君山道忠大禪

定門奥州白河住結城上野入道道忠者月波觀禪師慈父延元三年戊

寅十一月廿一日於吹上光明寺病死也ノ五十字ヲ刻ス按スルニ宗廣ノ子月波ハ光明寺ノ中興開山タリ宗廣因テ病ヲ本寺ニ養ヒ終ニ卒シテ此ニ葬ルコト寺傳ニ詳カナリ又本寺ニ宗廣ノ軍中日記ヲ藏ス寺傳云フ所亦理ナキニ非ズ今墳墓安濃郡藤方村ニ定メラル、ト雖モ此地ニ在ルモノ或ハ信トス可キ歟



光明寺古記、五輪塔、多藝錄、結城系圖

僧月波墓 五輪塔高五尺餘月波ハ宗廣ノ末子ニシテ僧トナリ光明寺ヲ中興ス宗廣ノ病ニ罹ルヤ月波奉養怠ルナシ文中二年八月寂ス年八十三此ニ葬ル墓前ノ貞石ニ勢州山田金鼓山法常住光明禪寺開山月波惠觀大禪師以下云々ノ文字ヲ刻ス引用書前

倭姫命舊跡尾上陵尾上一ニ尾部、小部、御覽、玄屋等ニ作ル 所在詳ナラズ本郡山田尾上町ト倭町ノ間ニ坂アリ尾上坂ト云フ蓋シ此近地ナルベシ倭姫命世紀ニ云フ雄略天皇貳拾三年二月十五日自退尾上山峯石隱坐ト後人之ヲ尾上陵又隱山等ト稱ス古老傳ヘテ此地ニ尾上社又小部御陵ト稱スル小社アリト云フ今考索スルニ其址ヲ見ズ岩屋本條、三國地誌、五、鈴道、勢國見冊集

大若子尊墓俗若子三味ト稱ス 磯村宇袴田ノ耕地中ニ在リ面積百貳拾坪里人傳ヘ云フ倭姫命本州ニ到ルノ時尊從ヒテ此地ニ留ル墓ジテ此ニ葬ル

其裔數家ニ分ル宗廟ノ禰宜神主タリ袴田衆大藪衆ト稱スルモノ是

ナリト古老口碑

福島正賴、同室墓同修理及重左衛門墓 共ニ山田一之木町宇越坂墓地

ノ中央ニ在リ塔面ニ福昌院殿前洒掃鐵叟道牛大居士墓ト題シ右傍
寛永十年癸酉九月廿五日ト刻ス正賴福島正則ノ弟ナリ道牛ト號ス
本州長島ヲ領ス後、大和宇多ニ移ル罪アリテ山田西河原町ニ塾居ス
卒スルニ及ビテ此ニ葬ル室墓、萬治三庚子十一月廿五日玉泉院殿宮
譽法月大姉ト刻ス修理墓ハ塔面ニ寛永十七庚辰五月八日傑巖道英
大禰定門ト刻シ重左衛門墓ハ寛永十七庚辰五月八日信覺圭韓大禰
定門ト刻ス修理、重左衛門共ニ正賴ノ子ナリ寛永十七年五月兄弟伴
ヒ出デ、能樂ヲ見ル本多正純ノ臣寺田將監ト路ニシテ爭鬪ス將監
二人ヲ殺シ身又重創ヲ被ル衆捕ヘテ奉行花房志摩守ニ訴フ花房將

監ヲ以テ理ナシトナシ自殺セシム修理ノ孫助六ナルモノアリ後幕
府ニ仕フ本村舊記
過去帳

秋田實季墓 朝熊村永松庵境内ニ在リ實秀ノ墓今磐城三春高乾院ニ在リ
蓋シ分骨ヲ埋メシモノナラシ

碑高五尺幅貳尺八寸回ラスニ石垣ヲ以テス碑面題シテ高乾院殿前
侍從空巖梁空大居士ト記シ側ニ萬治二年巳亥歲十一月二十九日安
倍實季入道ト記ス實季城之介ト稱ス愛季ノ子ナリ三春城主秋田氏
ノ祖ナリ政ヲ爲ス廉ナラス寛永七年九月此地ニ謫居ス萬治二年卒
ス幼女及ビ侍女片山從テ此ニ終ル實季書ヲ能クシ和歌ニ工ナリ詠
草若干ヲ存ス又醫藥ヲ好ミ奇法多シ世ニ謂フ所朝熊萬金丹ハ其家
傳ナリト云フ五鈴遺響、宮川夜
話、勢國見聞集 其ノ謫居ノ歌ニ

栖乃傍夕顔といへるものおのけらら生ひ出てあれたる垣糸
ともいそす青きかつらのおのき獨り心地よけよそひまつそれ

侍るを見るよわの花折との給ひしふることおもふと思ひ出られ
て讀侍りし

住むふる宿ともあらて夕か月の花此とゑとの眉ひらくなり

池村隼人墓俗、隼人塚 溝口村字鹽屋ニアリ尺餘ノ地佛軀ヲ置キ香花ヲ

供ス天文中國司北畠材親兵ヲ遣リ宇治山田ヲ襲ヒ祠官村山武則ヲ

敗ル殘黨逃レテ二見ニ竄ス隼人本村郷士タリ材親ノ兵ト戦フテ此

ニ死ス即チ其墳ナリ或ハ云フ往昔京都ノ一士漂零シテ諸州ヲ彷徨

ス其妻戀慕追テ此地ニ至リ倒レ死ス遺骸ヲ此ニ葬ル因テ姫塚ノ稱

アリト附會ノ説信ズルニ足ラズ勢國見聞集

福原右馬助墓 朝熊村永松庵境内ニ在リ塔高四尺餘幅貳尺文字詳ナ

ラズ右馬助及ビ從士ノ法号ヲ記スルモノナラン右馬助石田三成ノ

女婿ナリ慶長五年九月關原ノ役美濃大垣城ヲ守ル已ニシテ城陷ル

逝レテ山田ニ走リ福田大夫ニ倚ラントス徳川氏ノ兵來リ圍ム福田

怖レテ之ヲ避ケシム遂ニ本村ニ至リ自殺ス從士二人之ニ殉ス一任

寺殿順積道蘊禪定門ト謚ス五鈴遺響

三好長秀同賴澄墓 山田宮川町或ハ云フ中島ニ在リ方貳拾間許ノ竹叢タ

リ俗、三好塚ト稱ス長秀元長ノ子賴澄ハ長秀ノ子ナリ永正五年四月

北畠材親ト此地ニ戰ヒ軍敗レテ自殺ス因テ此ニ葬ル子良館記

稻葉通直墓 田九字本町西光寺境内ニ在リ五輪塔高三尺餘臺石二層

通直藏人ト稱ス慶長中田九城主タリ在世中一寺ヲ創建ス本寺是ナ

リ卒シテ此ニ葬ル五鈴遺響

井阪和泉守墓 有瀧村字御園尾ニ在リ草木叢生ス一碑石アリ莓苔之

ヲ融シ文字詳ナラズ往昔井坂和泉守ナルモノ紀伊ヨリ來リ此地ニ

没ス本村今井坂ヲ氏トスルモノ多シ其子孫ナリト云フ

中川經方墓 宇治浦田町字藥種山ニ在リ圓塚ヲナス古老傳ヘ云フ經方新三武カアリ延徳中宇治山田ノ役浦田坂ニノ木戸ニ戰死シ屍ヲ此地ニ葬ル

僧玄虎墓 宮古村廣泰寺境内ニ在リ玄虎一志郡大阿坂村淨眼寺ヲ開基シ曹洞卓立ノ道人ト稱セラル後土御門院紫衣勅許ノ綸旨ヲ下賜セラル後此ニ一寺ヲ建立シ廣泰寺ト號ス終ニ本寺ニ寂ス勢國見開集

僧圓海墓 前山村字龜谷郡ニ在リ龜五輪ト稱ス碑形龜ニ似タリ故ニ名ヅク圓海世義寺ヲ中興ス每歲十月寺僧參集法會ヲ修スコハナ距ル數町洞穴アリ三光坊窟ト云フ相傳フ圓海此ニ修學スト破壊ノ佛軀及ビ土器ヲ得ルコトアリ五鈴遺器

楠部村五輪塔 楠部村字大五輪ニ在リ高壹丈貳尺餘方四尺花崗石ヲ以テ之ヲ造ル正面一梵字ヲ刻ス或ハ云フ楠部村舊興正寺開基ノ僧

光明后ノ爲ノニ建テシ供養塔ナリト又往時此地泉寺アリ因テ和泉式部ノ爲ノニ之ヲ建ツト云フ索強ノ説信ズ可ラズ一説ニ云フ天文中宇治山田ノ役戰死スルモノ尤モ多シ爲メニ塔ヲ築キ冥福ヲ祈ルト此レ或ハ是ナラン

和泉式部塚 前山村字龜谷郡ニ在リ今林地タリ藤原保昌ノ裔建立スト云フ後塔ヲ山田吹上町光明寺舊地ニ移セリ宮川夜話
多氣郡

山川

城山一名金比羅山 長谷村字北山ニ在リ地ヲ拔クコト凡ソ五拾五丈東方内海ヲ望ミ松坂香良洲崎ノ勝亦眼中ニ属ス山頂金刀比羅神社ヲ安ンズ里俗傳ヘテ飯高宿禰ノ故居トナス地中往々土器ヲ出スコトアリ

古老口碑

御黛山又御炭山

北藤原村字烟草ケムツツ

ニ在リ今、畑地トナリ僅ニ松林ヲ存ス傳ヘ

云フ昔時此地ニテ齋内親王ニ貢スルノ黛ヲ燒キタリ故ニ名ヅク或

ハ云フ此地神鳳抄ニ載スル所畠山神社御園ノ地ナレハ御園山ノ謬

傳ナラント記シテ參照トス

神風徴古録、古屋草紙、五鈴遺響

佐々木弘綱

いろて世ニ跡ハえけん書殘はみすとの山此松の烟よ

多計川一ニ多氣川又竹川ニ作ル

榊田川ノ分流タリ往昔此ニ於テ勅使

ヲ迎ヘ修禊ス近傍ニ祓戸森幸橋等アリ皆古街道ニ属ス宮川夜話

催馬樂

讀人不知

竹川の橋此つ先なる花園ニ我をばはなてめましたくへて

夫木

藤原定家

後にまゝ誰か來て見ん竹川やむすふ取も紅葉ちるあり

笛川

齋宮村字

笛川ニ在リ今纔ニ細流ヲ通ジ小橋ヲ架ス近傍ニ篠笛

森アリ地名蓋シ之ニ基ク俗傳フ在原業平本州ニ來ルヤ私ニ齋王ニ通

ジ笛ヲ此ニ吹キ信トナスト野人ノ説固ヨリ信ズルニ足ラザレ本

州ノ著談トナレリ暫ク此ニ記ス勢國見聞集宮川夜話

建久八年百首歌合

九條内大臣

音よ立てうらみやせまし笛川の瀬よよる竹のおのかうきふし

寒河

土羽村字前田、東出、中口等ノ間ヲ流ル、外城田川ヲ稱ス倭姫命

世紀ニ云フ從ニ其所ニ幸行河盡支其河水寒有支即寒河止号支云々ト即

チ是地ナリ

佐々牟江佐々牟江橋(又篠笛橋)

山大淀村ト根倉村ノ間ニ在リ今、佐々

牟江川ト稱ス下流ハ大淀浦ニ注ク倭姫命世紀ニ從ニ其處ニ幸行氏佐佐

牟江爾御船泊給比其處爾佐佐牟江宮造令坐給支大若子白鳥之真野

國止國保伎白支其處爾佐佐牟江社定給支ト記ス即チ大神遷幸ノ舊址タルコト知ルベシ白鳥之真野及比佐々牟又本村ト行部村トノ間ニ江社ノ舊址今詳ナラズ架スル橋ヲ篠笛橋ト云フ俗傳フ源義經ノ妾靜其郷度會郡磯郷ニ至ル時此橋ニテ笛ヲ吹ケリ故ニ名ヅクト妄誕笑フ可シ

千鳥カ瀬 相可村字出張ニ在リ小流アリ太木川ト稱ス乃チ其東邊ニ属ス遠巒四方ニ聳エ眺望頗ル佳ナリ傳ヘ云フ往昔僧西行神宮ニ詣テ路此處ニ出ヅ己ニ黄昏ニ属ス伴僧宿ヲ求メントシテ先ヅ本村ニ到ル待ツコト久シテ至ラズ乃チ出デ、西行ヲ呼ブ西行時ニ此瀬ヲ渡ル偶々千鳥ノ聲ヲ聞キ即吟ス因テ此名アリ其歌ニ五鈴遺響勢國見聞集此ろをぬる我を友呼ぶ千鳥ノ瀬越えてあふろよ旅寐こそすれ

幸橋一名再拜橋 竹川村字花園ニ在リ今、長幅貳間ノ石橋ヲ架ス
大貳高遠
名寄

頼もしき名よもある哉見て行のまつさきはひの橋を渡らん
邑 里

丹生八景 三水 丹生村ニ在リ貞享中長谷川三慶之ヲ撰ス曰フ、社頭春色、神宮晚鐘、星淵螢火、潮澤流筏、上田秋月、山口水銀、局岳積雪、長谷夕照、是ナリ係ルニ詩章ヲ以テス今悉ク散逸シテ其建ツル所ノ潮澤碑ヲ存ス潮澤ノ水海水ノ満干ニヨリテ涌出ス故ニ常ニ鹽氣存スヲ含ム往昔方俗父母ノ喪此ニ祓禊スルノ禮アリ天和、享保ノ際大淀三千風等其遺風ヲ慕ヒ之ニ贊グニ俳歌或ハ詩韻ヲ以テス又本村ニ龜ガ井、松清水、金ガ清水ト稱スル三水アリ共ニ名區トナス今其跡ヲ止メズ潮澤碑僧空海ノ歌ニ

細頸の南此浦よさす鹽は丹生の内外の御鹽ありけり
宇田里 齋宮、金剛坂、上、有爾中等ノ數村ニ亘リテ字宇由アリ此邊ヲ指ス今概子耕地タリ

散木乘歌集

藤原俊頼

明ほのよ宇田の畔より立嶋此羽根かく音や萬代此の
有爾町ワニマ 大淀村字西有爾町野及比山大淀村字有爾町野ノ地ヲ云フ往
昔此地ニテ瓦器ヲ作り大神宮ニ獻セシガ後、部落ヲ有爾郷ノ地ニ移
セリ今往々瓦片ヲ出スト云フ

神祠

竹神社 竹川村ニ在リ長白羽神ヲ祀ル創立詳ナラズ社傳ニ云フ垂仁
天皇ノ時多氣連ノ祖宇加乃日子、其子吉志比古、皇大神幸行ニ供奉ス
孝徳天皇ノ時多氣郡ヲ置ク其子孫郡領ニ任ス仍リテ末裔本郡ニ住シ
其氏祖ノ神ヲ奉祀シ白波神ニ配スト明治二年 今上行幸ノ時奉幣
使參向アリ祭日一月三日四月三日社記
相鹿上神社 相可村ニ在リ天兒屋根命命ハ大鹿首ノ祖先ニシテ本 村ハ即チ首、本貫ノ地ナリ 祀

ル俗、上ノ宮ト稱ス創立詳ナラズ傳ヘ云フ本社上世ハ相鹿郷ノ上ニ
アリシヲ後、今ノ地ニ遷スト祭日十二月六日社記

建日別神社 枋原村ニ在リ天手刀雄命、建比良部命ヲ祀ル創立詳ナラ
ズ祭日一月十九日六月十一日十一月十一日社記

牛庭神社 牛草村ニ在リ牛大山咋命ヲ祀ル創建詳ナラズ本社ヨリ一
町許北ニ一老松アリ今枯 物見松ト稱シ其下ニ小祠アリ是即チ本社
ノ遺址ニシテ後世此ニ遷スト云フ祭日陰曆正月八日社記

丹生神社 丹生村ニ在リ丹生津姫命ヲ祀ル社傳ニ云フ繼體天皇十六
年創立嵯峨天皇弘仁中夏旱ス勅シテ雨ヲ此ニ祈ル同秋霖ス亦晴ヲ
此ニ祈ル北畠氏ノ盛時屢々社殿ヲ造營ス古田重勝、紀伊徳川氏亦神
田ヲ寄附ス祭日六月十六日

三月未つらた丹生大明神へ参り下向し侍るよ上田野と云ふ所

を通りて

北畠國永

千老や振神の御前より行通ふ賤り上田の野を登りよきとへ

竹大與杼神社 大淀村ニ在リ祭神及ビ創立年月詳ナラズ里俗豊玉彦命倭

姫命世紀ニ海鹽大與度爾與度美氏御船令ニ幸行其時倭姫命悅給氏其

濱爾大與度社定給云々ト記ス即チ是ナリ祭日一月十一日五月三十

一日九月廿八日社記社地海濱ニ在リテ頗ル景勝ニ富ム

鳥墓御厨 トツカノミヅリ 葦村字鳥墓ノ地ナリ今小祠アリ鳥墓神社ト稱ス往昔此ニ

神序ヲ建テ神領ノ雜務ヲ執行シ來リシが大化五年度會郡山田原ノ

離宮院ニ合ス内宮儀式帳ニ云フ從ニ纏向珠城朝廷以來至ニ于難波長柄

豐前御宇天皇御世有爾鳥墓村造神序氏爲ニ雜神政所ニ仕奉支ト又神

鳳抄ニ富墓御厨四丁ト記ス即チ是地ナリ

梵刹

近長谷寺 長谷村ニ在リ眞言宗仁和寺末ナリ仁和中飯高宿禰諸氏氏諸

正史ニ見エズ創立ス或ハ云フ光孝天皇初メ丹生山光明寺ト号シ後今ノ

稱ニ改ム永祿中北畠利貞系圖ニ祈願所トナス、蒲生氏郷、徳川頼宣等

亦之ヲ崇信ス記寺境内櫻樹アリ

天正二年卯丹生ノ泊瀬ニ花を見ける枯る木を花さくともち

らひ此ある程み

北畠國永

枯るさく梢の花よまの寺の春を幾世にかさことのをる

金剛座寺 カササガ 神坂村ニ在リ天台宗延暦寺末ナリ白鳳九年藤原不比等創

立ス應仁二年火災ニ罹リ寶物舊記等燒失ス萬治中僧良珠方丈庫裡

表門ヲ再建ス本寺ニ藤原不比等ヨリ傳來ト稱スル笛一管アリシガ

文化中紀伊徳川氏ニ獻ズ又境内ニ菩提樹、三葉丁子アリ共ニ著名ト

ナス寺記、五
鈴遺響

神宮寺 丹生村ニ在リ眞言宗京都勸修寺末ナリ寶龜中僧勸操創立ス後勸操ノ弟子僧空海來リ住シ寺門盛ナリシガ天正中三瀬左京ノ兵乱ニ燒失シ貞享中之ヲ再建セリ今中本寺ニ列ス寺記

大陽寺 栗谷村ニ在リ曹洞宗永平寺末ナリ創立詳ナラズ往昔華山院一七日參籠セラレシ舊地ニシテ大永中北畠材親之ヲ崇信シ伽藍莊嚴ナリシガ永祿ノ兵燹ニカ、リ燒失ス後僧弘宗堂宇ヲ再建ス之ヲ中興開山トス寺記

逢鹿瀬寺址 相鹿瀬村字淺間山ニ在リ稍平坦ニシテ礎石等ノ遺址ヲ存ス創廢年月詳ナラズ神護景雲元年十月本寺ヲ以テ大神宮寺ト定メラル寶龜六年六月石部楯杵同吉見私市安良等神宮御饌ノ年魚ヲ逢鹿瀬川ニ漁ス同寺僧徒ノ辱シムル所トナル之ヲ官ニ訴フ是ヨリ遂ニ本寺ヲ廢スト云フ三國地誌神宮雜事記

磯部寺址 相可村字磯部寺ニ在リ創立年月詳ナラズ相傳フ往昔伊蘇上神社ノ神宮寺ナリト元祿中堂宇ヲ再建シ天台宗延曆寺末派ナリ明治六年廢ス

正明寺址 丹生村字馬寶殿ニ在リ今耕地タリ相傳フ往昔法華宗ノ元祖日蓮開基ニシテ其自書ノ題目ヲ刻セル石塚アリシニ天正ノ始大黒屋某竊ニ之ヲ身延山ニ賣リ唯臺石ノミ存セシガ後神宮寺ニ置ク其所在今詳ナラズ五鈴遺傳

濱海

大淀浦 大淀村沿海ノ地ヲ稱ス東ハ二見志摩ノ島嶼ヲ望ミ北ハ遙ニ尾參ノ海岬ト相對ス海邊松樹鬱蒼トシテ白沙ニ映シ風景畫圖ノ如シ往昔倭姫命天照大神ヲ奉ジ此地ニ到ル海上風ナク波浪殊ニ穩ナリ命悅ビテ大與度社ヲ建ツ邦人水上ノ穩カナルヲ稱シテヨドムト云フ是ヨリ遂ニ其地ニ

名ヅク倭姫命
世紀

新古今

藤原定家

大淀此浦よかり何にみるめよに霞またして歸る鴈の絲

風雅

俊賴朝臣

大淀の濱の眞砂を君の代此數よとれとや浪も寄はらん

白良シラ濱濱田松 今詳ナラズ或ハ云フ濱田村ノ海濱ヲ稱スト五鈴遺澤勢
國見問集

字蛭子前ノ邊蓋シ是ナラン南方一帶松林ヲナス北ハ遠ク尾參ノ山

岳本州多度山等ヲ望ミ商船漁舶往來常ニ絶エズ

山家集

西行

浪寄るまらゝの濱此からす貝ひろひやすくもおる何ゆる哉

夫木

寂念

雪の色よかなしきまらゝの濱千鳥聲さへさゆる曙此そら

御祓場ミハツバ 大淀村字大與度ニ在リ今渡津タリ相傳フ往昔倭姫命此地ニ

祓禊ス故ニ名ヅク中世齋宮内親王亦以テ例トナスト大淀名勝志
古老口碑

大神宮千首

新大納言

松よ吹風も涼しく大淀のけふは御祓を神やうけあん

小野湊野一名小 今詳カナラズ或ハ云フ大淀村ノ地ニシテ即チ大淀浦ニ

属ス往古尾參二州ニ渡航スル津口タリト五鈴遺澤勢
宮川夜話按ズルニ此地數説

アリ一ハ度會郡大湊ノ西南ニ在リトシ勢陽雜記勢
陽拾遺集一ハ桑名郡東方村

又鈴鹿川ノ末流或ハ雲出川ノ邊ナリトス士佛參詣記
古老口碑然レモ齋宮式ニ

五月十一日晦日隨近川頭爲禊八月臨小野湊爲禊ト記ス近川ハ乃

チ多計川ナリ大湊雲津川等ヲ以テ之ニ充テバ齋宮所在ノ地ヲ距ル

甚タ遠シ便宜ノ海水ヲ棄テ彼地ニ禊スベキノ理ナシ圓融天皇ノ時

村上ノ皇女規子内親王齋宮タリ大淀ニ禊ス其母徽子内親王ノ歌ア

リ然レバ大淀乃チ祓禊ノ地タルコト知ルベシ

新古今 徽子女王

大淀の浦ニ立浪かへらずハ松のかはらぬ色茂見ましや

新千載 藤原基任

流蘆の末葉も見えす成まけり小野の湊此五月雨此頃

園林

花蘭 齋宮村字蛭ノ澤ニ在リ今田圃原野タリ菖蒲叢生シ花時恰モ紫

氈ヲ布クガ如シ傳ヘテ齋宮花蘭ノ地トナス隣村竹川村字花園アリ

今草生地タリ又其址ナリト云フ 勢陽見冊集

催馬樂 讀人不知

竹川の橋のつめある花蘭の我をいはなてめさしたくへて

齋宮森 齋宮村字御館ニ在リ一ノ森林ヲナス即チ齋宮々址ノ地ナリ

佐々木弘綱

ふりこへていつきの森の跡とへちられる紅葉も埋もれまけり

根倉森 根倉村根倉神社ノ地ヲ稱スルナラン 伊勢參宮名所圖繪

讀人不知

月夜に根倉比森もくらくらほましてまらゝ比濱いかならん

洞窟

涼石岩屋 久豆村宮川ノ水岸ヲ距ル三町許ニ在リ洞口深四間半高八

間幅拾間餘中央ニ一ノ碑石アリ長三尺表面ニ禁殺生ト刻シ右ニ享

保癸卯左ニ涼石岩屋ノ文字ヲ題ス其左方ニ方貳間許ノ窟アリ中ニ

蝙蝠多シ俗傳ヘ云フ此洞大和國鹽ノ羽ニ通ズト近年村民之ニ入ル

モノアリ進ムコト拾五間許ニシテ道窄ク歩スルヲ得ザリシト云フ

池泉

御河池ミカハ 齋宮村ニ在リ今詳ナラス傳ヘテ齋宮ノ御溝トナス其水ノ深キ
ヲ以テ此名アリ五鈴遺釋、伊勢名所拾遺集

夫木

徽子女王

まどし生の御河の池にあやめ草長たためしよ人もひかなん

有明池 齋宮村字笛河地藏院境内ニ在リ今纔ニ盆池ヲ存ス傳ヘ云フ

齋宮宮池ノ遺址ナリト傍ニ碑アリ歌ヲ刻ス云フ

往古茂今毛不易天有明乃池爾波月乃影會殘連留

駒除池 大淀村南方ノ道傍ニ在リ今周圍拾間許ノ小池ヲ存セリ傳ヘ

云フ昔時齋内親王在原業平ト共ニ此地ヲ通行スルノ時適々農夫ノ

草ヲ刈ルニ逢フ農夫馬ヲ小池ノ傍ニ避ク業平歌ヲ詠ジテ云フ、淺芽生比

賤り草刈る道せまし行りふ人よ駒除の池ト因テ此名アリ勢國見聞集大淀名勝志

子安井 丹生村字綠表ニ在リ傍ニ地藏佛ヲ安ンズ詣拜スルモノ多シ傳

ハ云フ僧空海ノ加持水ニシテ産婦之ヲ飲メバ艱ムノ患ナシト明曆
二年長井新之亟ナルモノ之ヲ浚フ水際ニ三穴アリ南方ニ通ズルモ
ノ最モ深シ西東ニ通ズルモノ之ニ亞ク井底又大石アリ文字ヲ刻ス

五鈴遺釋

ニツ井 仁田村字井戸世古ニ在リ方九尺石ヲ以テ之ヲ疊ムニ井相並

ブ一ハ清冷ニシテ常ニ飲用ニ供シ一ハ濁リテ汚物ヲ瀦クニ過ギス

里俗相傳フ始メ空海廻國シテ此地ヲ過ギ民家ニ入りテ水ヲ求ム老

婦アリ出デ、行キ暫クシテ汲ミ來ル空海其水ヲ得ルニ不便ナルヲ

愍ミ其ノ杖ヲ以テ地ヲ穿ツニ水涌出清濁自ラ分ル即チ云フ一ハ之

ヲ飲ミ一ハ物ヲ洗フベシト言終テ去ル居民便ヲ得ル少カラズト云

フ

僧空海加持水 波多瀬村字中山ニ在リ石ヲ以テ之ヲ疊ム清水湧出ス

傍ニ空海ノ石像アリ

樹石

大淀ノ松一名業平松

大淀村字有爾町野ニ在リ高六拾尺餘圍拾尺餘枝葉四

方ニ延ビテ葱々マリ傳ヘ云フ往昔在原業平本州ニ使シ將ニ尾張ニ

往カントス齋宮送テ樹下ニ至リ唱和相慰ス故ニ業平松ノ稱アリト

延寶中大風ノ爲メ折損ス代官古郡重年其名區ノ煙滅スルヲ愛ヒ植

ウルニ一株ヲ以テス今存スルモノ是レナリ大淀名勝志宮川夜話五鈴遺響

新古今

讀人不知

大淀の松のつらくもあらなくもうらみてのとも歸る波哉

吹井ノ松一名根上松

東黒部村字西ノ越ニ在リ始メ巨松三株アリ後枯槁シ朽

株亦將ニ絶ントス今ヲ距ル貳拾年前村人飯田美卿其名木ノ枯ル、ヲ

痛ミ更ニ植ウルニ數株ヲ以テス今圍凡四尺餘ニ至レリ五鈴遺響勢園見冊集

大淀よりくるうにかみよ千歳をも経ぬらんと思ふ程の松貳本ありあたりの人よ尋ねけをばふけるの松とも申又根上りの松とも申すなりとまたへ侍りぬ皆人寄松戀といふ事をよみけるほとよ

北畠國永

浦波又袖こそぬるれ磯の松根よあらはれて戀んものうは

黒部根上松碑記

齋藤正謙

吾勢黒部海濱舊有根上松三株鬱然云是千年以上物北畠少將國永嘗觀而賞之有歌詠見其羽林咏艸今則亡矣傳其名而已里人飯田美卿好古之士也請余記之以標其蹟余於是喟然歎曰松壽千年猶有枯朽之時人壽不盈百而欲比之不亦難乎哉然朽者身不朽者名人或有侷儻非常萬世不朽者松則不及也雖然此松見於名紳集中其名到于今弗磨滅是爲木中之非常者以侷儻人比之誰亦爲不

可耶乃爲書其由與美脚上之貞石更圖不朽云銘曰

天上天嬌人咸仰松豈唯松耳人亦有龍

金掛松 川尻村字權現前ニ在リ古松一株海岸ニ聳立ス傳ヘ云フ往昔本村興王寺アリ衰廢前一夕松樹枯槁ノ色ヲ呈ス翌夜悉ク舊ニ復ス是ヨリ稱シテ枯カケ松ト云フ後今稱ニ誤レリ近傍村民父母ノ喪アレハ服ノ闕ルヲ嫉チ此松ニ詣リ潮水ニ浴スト何ノ故ヲ知ラズ

大杉村大杉 大杉村字小森ニ在リ周圍貳丈五尺高三十間土人之ヲ祀リ小祠ヲ建ツ縣内著名ノ巨木タリ近傍ニ數條ノ大瀑アリ山中ノ景幽邃ヲ極ム

西行櫻 朝柄村字櫻峠和歌山別街道ノ右傍ニ往昔巨大ノ櫻樹アリ僧西行ノ植ウル所タリ後之ヲ伐採シ村人野呂某ノ家屋建築ニ供セリ野呂氏ハ五箇篠山ノ城主野呂氏ノ遺族タリ領主紀伊徳川氏特ニ其

伐採ヲ許セシト云フ

三本榊 下有爾村字西郷ニ在リ一根三幹アリ故ニ名ヅク式内有爾神

社ノ舊址ナリ村人之ヲ祀リテ神體トナス

子得岩 又一名付岩ト云フ 四疋田村字脇田ニ在リ楡田川ノ南涯ニ屬シ

飯野郡阿波曾村ト相對ス村人子ヲ育スルモノ生産後七日間ニ其兒ヲ懷キ岩邊ニ到リ阿波曾村人ノ來ル者ヲ招キ其兒ニ名ヅケシメ胃スニ岩字ヲ以テセハ其兒長生ヲ得ルト云フ勢國見聞集 古老口碑

行宮址

齋王宮址 俗ニ多氣宮又竹都ト稱 齋宮村字御筈及ビ字柳原ニ亘ル即チ

伊勢街道ノ右側ニ屬ス今原野耕宅地タリ東西四拾五間南北六拾七間往昔ハ東西四町南北七町ニ亘ルト云フ 往昔朝廷内親王未ダ嫁セザルモノヲ簡ビ大神

宮ニ侍セシム之ヲ齋王宮ト稱ス即チ此地ナリ倭姫命世紀ニ曰フ

大足彦忍代別天皇行貳拾年天長元年寅二月遣五百野皇女皇大神乃御杖代
止志多氣宮乎造奉天齋儀美令侍給支伊勢齋宮群行始是也云々ト蓋シ
 此時ノ創建ニカ、ル天長元年九月此地神宮ヲ距ル遠キヲ以テ勅シ
 テ度會離宮ヲト定シテ之ニ移ル承和六年十一月齋宮火ヲ失シ百餘宇
 燒失ス因テ更ニトシテ舊地ニ復ス後醍醐天皇ノ時天下兵亂ニ際シ
 此式終ニ廢ス日本後紀、類聚國史、齋宮寮ノ名ハ續日本紀ニ文久二年十一
 月津城主藤堂高猷建議シテ齋宮ヲ造ランコトヲ請フ朝廷之ヲ嘉ス
 慶應三年封内鷹野尾村今、在藤原郡本ノ地ヲ開墾シ以テ其經費ニ充ン
 トス未タ成ラズ因テ米五百石ヲ獻ジ以テ墾地ノ用ニ充ントス然レ
 氏世變多端ニ際シ遂ニ之ヲ果ス能ハズ藤堂家譜

山家集

西行

いつか又齋の宮にいつかきて注連の御うちも塵をはらさん

夫木

鴨長明

まどのおとにうけても何うおもひ出るいけき此宮のまめ此下草

城砦及宅址

三瀬城址俗多氣ノ御所ト云フ 上三瀬村字空通ニ在リ今耕地山林タリ舊形僅ニ
 存ス天正二年三月北畠具教大河内城ヨリ移リ居ル州人呼ビテ三瀬
 御所ト稱ス四年十一月藤方刑部少輔臣輕野某長野左京進瀧川三郎
 兵衛尉等來リテ謁ヲ乞フ具教正サニ爐ヲ圍ミ二人ノ兒ヲ弄ス乃チ
 出デ、之ヲ見ル左京直チニ長槍ヲ取リテ之ヲ衝ク具教怒リテ其槍ヲ
 奪ヒ劍ヲ拔キテ之ヲ斬ントス而シテ劍室ヲ脱セズ瀧川、輕野隙ニ乘
 ジテ之ヲ刺シ併セテ其兩兒ヲ殺ス卒スル時年四十九後、信雄三瀬ヲ森
 清十郎ニ賜フ又三瀬藏人ナルモノ之ニ居ル伊勢一國舊城跡附、五鈴遺誓
 大淀城址俗城山ト稱ス 大淀村字大淀ニ在リ今、小丘ニシテ松樹茂生ス永祿中

北畠具教ノ創築ニシテ其退隱所タリ永祿十二年九月九鬼嘉隆織田
信長ニ屬シ兵艦數艘ヲ率ヒ來リ攻ム鈴木貞經、安田昌綱等能ク拒グ
敵拔ク能ハズシテ去ル天正四年具教三瀬ニ弒セラレ、ニ及ビテ信
長ノ兵又來リ攻ム會々城中反者アリ火ヲ民家ニ放チ城中ニ延燒ス
城遂ニ陥ル城兵三拾餘人悉ク之ニ死ス其子孫尙本村ニ存スルモノ
アリ五鈴遺壘、背書國誌、大庭名勝志

五箇篠山城址 古江村字城山ニ在リ東北、櫛田川ニ臨ム高大約四拾尺
處々ニ石壘ヲ存ス山上平坦ノ地竹篠叢生ス地勢頗ル峻岨ナリ土中
往々兵器磁器ヲ出スコトアリ往昔北畠氏ノ臣野呂越前守之ニ居ル
天正十年北畠具親壁壘ヲ修シテ此ニ據リ以テ宗家ヲ恢復センコト
ヲ圖ル事成ラズ伊賀ニ走ル後、山陽ニ至リ毛利氏ニ投ズ勢國見開集
鱗尾城址一名知 平尾村字志田ニ在リ今、山林タリ僅ニ遺址ヲ存ス北畠

氏與力知積寺某之ニ居ル五鈴遺壘

有爾中城址 有爾中村字權現ニ在リ今、山林タリ土壘ノ址ヲ存ス北畠
氏ノ族北岡光房、光國相繼テ之ニ居ル其臣下村仁助ナルモノアリ永
祿中陰ニ織田氏ニ通ジ遂ニ滅サル三國地誌 或ハ云フ織田信雄ノ田丸城
主アリシ時此ニ陣屋ヲ設ケシト古老口碑

牧城址 牧村字前街道ニ在リ今、山林タリ北畠氏ノ臣岡惟家此ニ居リ近
郷ヲ所管ス小四郎ナルモノニ至リ天正中北畠具教三瀬ニ弒セラレ
、時之ニ死ス其子孫今、本村ニ存ス五鈴遺壘古老口碑

栗谷城址 栗谷村ニ二處アリ一ハ字殿切ニ在リ今、耕宅地山林タリ往昔
此地紀伊ヨリノ間道ニシテ草賊隱伏ノ地ナリシが大永中谷内藏之
亟北畠氏ノ命ヲ受ケ山賊ヲ殲セシニヨリ此地ヲ賜ヒ因テ城ヲ築キ
之ニ居ル刑部太夫ニ至リ天正四年具親ヲ助ケ織田氏ニ抗ス後、城廢

スト今其子孫栗谷精之進ノ宅地タリ栗谷氏系圖又多藝錄ニ縫之助利兵衛等ヲ載ス蓋シ其族ナラン一ハ字赤坂ニ在リ今山林ニシテ樹木茂生ス里人傳ヘ云フ北畠氏ノ臣唐櫃五身助砦ヲ此ニ設クト五身助ノ砦址今唐櫃村ニ存ス蓋シ此ニ其支砦ヲ築キシナランカ

矢田城址 矢田村字城山ニ在リ高貳百五拾尺許山上ニ區ノ平地アリ廣各七八百坪許土壘ノ址ヲ存シ樹木茂生ス城主詳ナラズ里人之ヲ笠城御所ト稱ス蓋シ北畠氏繁盛ノ時其支城ニ屬セシモノナラン三國地誌古老口碑

波多瀬城址 波多瀬村字中山ノ山上ニ在リ平坦ニシテ樹木茂生ス大永ノ頃野呂房隆ノ弟實秀城ヲ築キ之ニ居ル其子實忠其子實高二見ノ役ニ戰死ス其子三郎天正中織田信雄ニ擒ニセラル三郎時年十五容貌甚ダ美ナリ信雄之ヲ赦サント欲ス三郎肯ンゼス遂ニ磔セラレ城廢ス五鈴遺傳野呂氏系圖

菅城址 上菅村ニ在リ北畠氏ノ臣中西清兵衛尉之ニ居ル五鈴遺傳今本村字下田平坦ノ地土壘ノ址アリ又字古田アリ舊ト殿屋數ト稱ス今山林タリ孰レカ是ナルヲ詳ニセズ記シテ參考トス

西山城址 西山村字上奥尻ニ在リ濠壘ノ址存ス北畠氏ノ臣中西圖書頭之ニ居ル又清次兵衛八兵衛外記進アリ蓋シ族類ナラン多藝錄

吉田氏砦址 茂原村字木馬瀬舊桃ケニ在リ今耕地山野地等トナレリ享祿二年北畠氏ノ臣吉田兼行始ノテ之ヲ築キ家士木馬瀬勘解由ヲシテ居守セシム北畠氏亡ブルノ後其子兼房天正中來テ之ニ住ス兼貞ニ至リテ他ニ移リ砦廢ス其子孫今尙存セリ吉田氏系圖古老口碑

下三瀬砦址 下三瀬村字川上ニ在リ石壘ノ址ヲ存ス傳ヘ云フ永祿中長野左京佐之ニ居ル元和中廢スト五鈴遺傳古老口碑

明豆砦址 明豆村字中切ニ在リ今宅地トナレリ里人傳ヘ云フ往昔明

豆新兵衛之ニ居ルト

兄國宿禰宅址 エケニ 兄國村字バンバニ在リ今僅ニ小丘ヲ存ス傳ヘ云フ貞

治中兄國宿禰之ニ居ルト 古老 口碑

平忠盛宅址 河田村ニ在リ今詳ナラズ字坂倉ニ忠盛ノ墳墓アリ蓋シ

其近地ナランカ 勢國見聞集 三國地誌

片倉氏宅址 シカダ 四神田村字西浦ニ在リ四境深溝ヲ廻ラス今開拓シテ田

圃トナス土中古刀陶器等ヲ堀出セリ片倉氏ノ事蹟詳ナラズ或ハ云

フ伊達氏 借仙臺 藩主 ノ臣片倉小十郎其先ハ本州ヨリ出ヅ是其舊址ナラ

ント書シテ參考トス

館 址

北畠氏館址 唐櫃砦址 唐櫃村字大枋 借桃原村 字總門 ニ在リ而積大約壹萬貳千坪地

形平坦ニシテ草生地タリ傳ヘ云フ天文八年北畠晴具館ヲ此ニ築ク

國平ト稱ス天正四年十一月北畠氏滅亡ノ後其臣吉田兼房來テ此ニ隱
レ具教ノ冥福ヲ祈ル居ルコト三年後其色桃原野ニ移ル唐櫃砦址ハ所
在詳ナラズ今村ノ西部ニ八幡神社アリ唐櫃氏ノ鎮守ナリト云フ蓋
シ此邊ニアリシナラン天正四年北畠氏ノ臣唐櫃五身助之ニ居ルト

五鈴遺響 古老口碑

古 墳

隆子内親王墓 タカコ 一名姫塚 又小松塚 馬ノ上村字寺山 借山 小 ニ在リ面積百七拾八坪

高壹丈貳尺圓形ヲナス周ラスニ柵ヲ以テス傍ニ陪塚ノ如キモノ四

基アリ樹木繁茂ス親王ハ醍醐天皇ノ皇子章明親王ノ第一女ニシテ

齋宮四十一代マリ安和二年十一月齋王トナリ天延二年閏十月痘ヲ

病ミ薨ス小松女院ト謚ス 皇統 紀 巡錄 此ニ葬ル墳墓後世荒廢ニ屬シ往々

開拓ス明治十六年三月村人之ヲ官ニ稟シ遂ニ親王ノ墓ト確定セラ

ル

平忠盛墓 河田村字坂倉ニ在リ面積四坪塚上巨檜一株ヲ植ウ忠盛ノ
 事史傳ニ詳ナリ仁平三年正月卒ヌ年五十八大日本史乃チ此地ニ葬ル往
 時黃銅鐘子及ビ磁器ヲ出セシコトアリ五鈴遺器 勢國見聞集
 有爾中村古墳 有爾中村字發舊字堀川ニ數塚アリ高大約丈餘徑六尺何人
 ノ墳ナルヲ知ラズ往年里人開拓シテ墓地トナサントス偶々塚ヲ發
 キ銀環、古刀、土器及ビ鐵器ノ腐蝕スルモノヲ得乃チ中止シテ之ヲ官ニ
 告ク或ハ以テ齋宮六十一代惇子内親王ノ墓トナス未ダ是ナルヲ詳
 ニセズ

按ズルニ惇子内親王ハ後白河帝第五皇女仁安三年八月齋宮ニト
 定セラル承安二年五月齋宮寮ニ薨ズ堀川齋宮ト稱ス大日本史州人三
 巫清直曰フ今墳ノ北十五町齋宮寮址アリ墳ノ西南北ニ空溝ヲ通

ズ幅貳丈深壹丈五尺許土俗堀川溝ト稱ス延寶六年十二月檢地帳
 堀川下畑四段云々ト記ス堀川豈齋宮ノ名ヲ存スル者ニ非ズヤト
 又曰フ三昧等ノ小字アリ土俗墓ヲ稱シテ三昧ト云フ蓋シ王墓ニ
 非ザルカト書シテ參考ニ供ス

吉田兼房墓 茂原村字高田ニ在リ石ヲ以テ之ヲ疊ム高三尺二寸兼房
 齋兵衛ト稱ス北畠具教ニ仕フ北畠氏ノ族歎ヲ織田信長ニ通ズルモ
 ノアリ兼房之ヲ刺シテ死ヲ乞フ具教聽カズ惡字ヲ與ヘ惡齋兵衛尉
 ト稱セシム天正中北畠氏亡ブルニ及ビ從士四人ヲ從ガヘ本村ニ隱
 ル鳥羽城主九鬼嘉隆之ヲ信長ニ薦メントス兼房之ヲ辭ス五年八月
 山田中島ノ亂九鬼氏ヲ助ケ功アリ後郷ニ歸リ文祿四年二月卒ス本
 覺院殿桃原資林ト謚ス乃チ此ニ葬ル吉田氏系圖

僧眞紹墓 丹生村字月野ニ在リ墓域貳拾坪中央五輪塔ヲ實ク相傳フ

僧空海本村神宮寺ヲ創立シ眞紹ヲ以テ之ニ主マラシム貞觀十五年七月寂ス年七十九或ハ云フ近江人陰陽師石原某國司北畠氏ノ爲メニ祈ル所アリテ兩宮ニ詣テ歸途コ、ヲ經加茂杉太夫ニ遇フ石原騎シテ下ラズ杉太夫怒リ薙刀ヲ取り之ヲ害ス是乃チ某ヲ埋ノシ墓ナリト丹洞夜話

不輕塚 フキョウ 丹生村字野尻ニ在リ塚域凡ソ九拾坪巨椁アリ傍ニ徑壹尺五寸許ノ小石ニチ存ス傳ヘ云フ聖武天皇ノ時僧行基勅ヲ奉ジ宗廟ニ詣テ託宣ニヨリ舍利骨一粒ヲ此ニ藏スト夜話丹生倣執丹洞世ノ謂フ所 不輕菩薩塚是ナリ

經石塚 大淀村字東有爾町ノ路傍ニ在リ塔高三尺幅方壹尺壹寸餘其下石ヲ以テ疊ム傳ヘ云フ往昔本村一孕婦アリ死ス墓中夜々陰火ヲ出ダス里民驚怖ス專修寺僧眞惠此地ヲ過ギ爲メニ小石ニ經文ヲ寫シ

之ヲ墓中ニ藏ム是ヨリ其怪ヲ見ズト大淀名勝志、碑誌

飯野郡

山川

楡田川 水源ヲ飯高郡舟戶村ニ發シ飯高多氣等ノ郡界ヲ經本郡松名瀬村ニ至リ東流海ニ注グ傳ヘ云フ倭姬命湯津爪楡故事ニ齊官群行ノ時天皇自ラ御楡ヲ齋王勅シ玉フニレヲ別レコト勿レト背書チ此川ニ落シ玉フ故ニ此名アリト國誌

名寄

俊 賴

君かそむ楡田川よやまたれたる神の心もち解ぬらむ

伊藤長胤

青山廻供一溪明夏木陰々宿雨晴脱網錦鱗即登俎臨流那有羨魚情

楡田川流域址 西黒部村ノ東北部ニ在リ往昔楡田川久保村界ヨリ本

村字古川野田ノ地ヲ經過シ内海ニ注ギシガ後世洪水ニ罹リ遂ニ今ノ如ク東方松名瀬村ノ地内ヲ通ズルニ至ルト云フ

神祠

神山神社 山添村ニ在リ猿田彦命ヲ祀ル社傳ニ云フ垂仁天皇廿二年

創建倭姫命世紀ニ遷ニ飯野高宮云々トアルハ即チ本社ナリト祭日

正月十日六月二十二日九月二十二日陰曆

意非多神社址一名長田森又天王塚ト云フ朝田村字齋宮ニ在リ樹木鬱蒼一小林ヲナス

里人云フ式内意非多神社ノ舊址ナリト或ハ云フ長田忠宗非司ノ墳ナ

リト暫ク疑ヲ記ス

神宮屯倉址 所在詳ナラズ延暦儀式帳ニ天智天皇三年甲子多氣郡四箇

郷ノ地ヲ割キテ屯倉ヲ飯野高宮村ニ造ルト記ス三國地誌ニ云フ高

宮村ハ今ノ山添村ノ舊名ナラント記シテ後考ヲ俟ツ

梵刹

朝田寺 朝田村字里邊ニ在リ天台宗延暦寺末ナリ延暦十五年僧空海

創立正應中僧尊重伏見院ノ院宣ヲ奉シ七堂伽藍ヲ建立ス又修補料

トシテ田貳拾八町歩ヲ給セラル初メ眞言宗ナリシガ後天台宗トナ

ル天正ノ末僧榮金再興シテ曹洞宗ニ改ム慶長中古田重勝寺領ヲ寄

附シテ之ヲ崇信ス永應中復々今宗ニ改ム里俗死者アレハ衣ヲ此寺

ニ手向クルノ慣例アリ寺記

本宗寺 射和村ニ在リ眞宗東本願寺末ナリ應仁中僧蓮如三河國額田

郡土呂ニ一寺ヲ建テ本宗寺ト稱ス永祿中徳川家康ノ兵燹ニカ、リ

燒失ス寛永中東本願寺第十四世宣如本寺ヲ今ノ地ノ眞樂寺址ニ再

建シ尙眞樂寺ト稱セシガ後今稱ニ改ム寺記

一乘寺 中万村ニ在リ天台宗安樂院末ナリ推古天皇ノ時厩戸皇子創

立往昔ハ山上ニ在リ塔頭十六字アリシガ建武中仁木義長ノ兵燹ニ
カ、ル後北畠教具堂宇ヲ再建セリ寺記

大神宮寺址 所在詳ナラズ續日本紀ニ曰フ寶龜三年八月甲寅異常風

雨拔^レ樹發^レ屋^ト之伊勢月讀神爲^レ崇於^レ是^中徙^ニ度會神宮寺於飯高郡度

瀬山房同十一年二月丙申神祇官言伊勢大神宮寺先爲^レ有^レ崇遷^ニ建他

處而今近^ニ神郡其崇未^レ止除^ニ飯野郡之外移^ニ造便地者許^レ之ト按ズル

ニ三國地誌ニ度瀬山房ハ今飯高ニ非ズ古當郡山添村ヲ距ルコト一

町許西ニ在リ神宮寺山ト稱ス云々ト曰ヘリ記シテ後考ヲ竣ツ

康平寺址 上七見村ニアリ今詳ナラズ淨土宗マリ寺傳ニ云フ康平中

安倍貞任追討ノ時本寺ヲ調伏祈願所トナスト^{五鈴遺響}勢國見聞集

射和寺址 射和村字里中ニ在リ往昔著名ノ大寺ナリシガ漸次衰廢シ

明治維新ノ際廢寺トナリテ寺號ヲ飯高郡阿形村ニ移ス本寺藏スル

ル所古記文書ノ類多ク民間ニ散逸ス同村射和文庫ナルモノアリ亦
其一二ヲ藏ス

洞窟

莊村石窟 ^{シヨウ}莊村字切林ニ在リ窟高拾尺濶六尺深貳拾七尺許内外共ニ

石ヲ疊ム外部樹木繁茂ス何人ノ造ルヲ知ラズ或ハ古墳ノ類ナラン

樹石

西蓮寺柿 西黒部村字山中西蓮寺境内ニ在リ高拾五尺圍三尺余最モ

古木マリ傳ヘテ僧空海當國ニ順歴ノ時之ヲ植ウト云フ^{勢國見聞集}

龍燈松 河波曾村岸垣内^寶門前^寶寺ニ在リ高拾八間圍貳間半分レテ三

幹トナル里人云フ稀ニ龍燈ヲ現出スルコトアリ故ニ名ヅクト^{勢國見聞集}

聖德寺柿址 中万村字里中ニ在リ今枯槁シテ松樹ヲ植ウ傳ヘテ往昔既

戸皇子ノ植ウル所トナス寛政中之ヲ伐採セシニ頗ル奇異ヲ現ゼシ

ト云フ勢國見
開集

鏡石 中万村一乘寺ノ西坂ニ在リ高五尺餘圍拾八尺餘安永中津人與
田三角形シテ圓形トナシ伊藤長胤ノ詩ヲ刻ス今、莓苔之ヲ融セリ詩
ニ曰フ勢國見
開集

脩林夾ニ回磴、香刹倚ニ神山、未レ至レ小ニ天下、已知超ニ世間、雲深參ニ白
足、泉涌照ニ蒼顏、行欲究ニ奇絕、此途更往還

燈明石 中万村ノ西部櫛田川ノ中流ニ在リ高七尺餘熊寺ノ正里人云
面ニ當ル
フ岩上往々燈光ヲ放ツ世俗稱スル所龍燈是ナリト勢國見開集
勢陽但誌

紫石 山添村ニ在リ方拾貳間ノ巨石ナリ傳ヘ云フ往時松坂城主古田
氏之ヲ割キシト勢國見
開集蓋シ築城ノ時用ヒシ遺物ナラン

夫婦石外三石 阿波曾村字芋藏ニ有リ二石對峙ス故ニ名ヅク一ハ高四
尺八寸圍拾尺餘一ハ高四尺圍拾四尺此他挾箱石、罈子石、長持石ア

リシガ今共ニ所在ヲ失ス蓋シ形狀ノ類スルヲ以テ名ヅク勢國見
開集

田搔岩 御麻生菌村字櫛田ニ在リ東弘法池ニ接シ西櫛田川ニ瀕ス巨
岩高六間圍四拾間俗ニ高岩ト稱ス田搔岩其傍ニ存ス方凡ソ貳間

高壹間餘人跡牛蹄及ビ方耜等ノ跡アリ恰モ田圃ヲ肥搔スルモノ、
如シ故ニ名ヅク勢國見
開集

高岩 御麻生菌村字櫛田櫛田川ノ北ニ在リ高五間方三拾間許嶙然削
立セリ此地風景頗ル佳ナリ

城砦及宅址

御麻生菌城址 御麻生菌村字上山ニ在リ面積大約壹千坪許地勢平坦
ニシテ古井猶存ス何人ノ居城ナルヲ知ラズ同村西光寺ニ位牌四基
アリ一ハ智洞院殿前飛州島大守性譽覺木大禪定門一ハ善龍院殿前
志州大守空安了源大居士一ハ覺了院殿法山全性大信士一ハ淨邦院

殿前泉州志摩大守行譽直心大禪定門等ノ字ヲ刻ス蓋シ此ニ居城セシカ

神山城址城一ニ小山 中万村神山ノ山上ニ在リ大約壹町許周圍濠ヲ廻ラシ頗ル峻岨ナリ往昔仁木主水ナルモノ之ニ居ル多藝

古墳

仁木義長墓 中万村一乘寺境内ニ在リ五重塔高拾尺許花崗石ヲ以テ之レヲ造ル表面文字剝落シテ讀ム可カラズ義長右京大夫ト稱ス足利執權仁木賴章ノ弟ナリ正平中畠山道誓ト隙アリ之ト戦ヒ利アラズ遂ニ幕府ニ叛キ安濃郡長野城ニ據ル幕府諸將ヲシテ之ヲ攻メシム義長力盡キ南朝ニ降リ本州ヲ守護ス義長驕奢屢々神領ヲ侵ス神官等之レヲ制スル能ハズ後再ビ足利氏ニ降ル文中元年國司北畠顯能ト朝明郡三無瀬山城ニ戦ヒ敗績ス終ニ本寺ニ入り自刎シテ死ス即

千此ニ葬ル五鈴遺誓、古事國誌、勢國見聞集

僧空也墓 立田村字西ノ口ニ在リ塔高九尺餘表面梵字及ビ空也上人ノ四字ヲ刻ス傳ヘ云フ空也參宮ノ時此處ニテ念佛ヲ唱ヘ立チナガラ往生スト其據ル所ヲ知ラズ日本紀畧ニ空也上人六波羅密寺本願往生人ト記ス蓋シ後世崇信ノ徒此ニ碑石ヲ設立セシモノナラン

三國地誌 勢國見聞集

伊勢氏墓 射和村蓮生寺境内ニ在リ里俗伊勢義盛ノ墓ト云フ其據ル所ヲ知ラズ按ズルニ多氣郡長谷寺資財帳ニ東限ニ伊勢得蘭宅云々ノ文ヲ載ス蓋シ伊勢氏世々此地ニ住セシモノ、墳墓ナラン

大塚山古墳丸山古墳 佐久米村字ヒロ田ニ在リ東西拾九間南北貳拾四間餘墳上古碑ヲ存ス文字ナシ里人傳ヘテ練君長者ノ墓トナス又字角田ニ丸山墓ト稱スルモノアリ上ニ一磐石ヲ置ク里人亦傳ヘテ長

者ノ舊址ナリト云フ
 翁塚^{ヲキナ} 和屋村字辻垣内ノ田圃中ニ一小丘ヲナス傳ヘ云フ往昔翁ノ面
 此ニ天降レリ故ニ名ツクト元ト和屋勝田ノ兩村ニ神宮伶人ニ派ア
 リ和屋太夫勝田太夫ト云フ毎歲正月式例ニヨリ神宮ニ舞樂ヲ張ル
 和屋太夫ノ子孫相續ノ時ハ此塚ニ舞樂スルヲ例トナス^{勢國見}又本
 村字藤木及ビ破戸ノ二處ニ面塚ナルモノアリ舞樂ノ面ヲ埋メシ處
 ナリト云フ

飯高郡

山川

高見山^{一名去イ} 本郡ノ西端舟戸村ニ在リ本州中ノ高山ナリ大和街道
 來見山^{ニ属ス}往昔南朝ノ帝都ヨリ神宮及ビ國司ニ勅使軍使等ノ往還ハ此
 道ナリシト云フ^{遺五鈴}

鈴屋集

本居宣長

高見山谷より登るゑら雲の八重ふみりけてけふそ越行
 篠川 河岸松 (一名浪洗松) 坂内村細野嶺ニ發シ東北流シテ内海ニ入ル
 即チ坂内川是レナリ今松坂大橋ヲ下ル四五町ニシテ小板橋アリ古
 ノ伊勢參宮街道タリ又近傍ニ古松アリ河岸松ト稱ス往時潮水樹下
 ニ至リ常ニ漁舟ヲ繫ゲリ^{伊勢名所參考抄}古老口碑

玉吟集

家隆

朝ほらけ霜さへどつるさゝ川の氷ふみ分け通ふさどひと
 下樋小川^{シタヒ} 鈴止橋鈴止松 東岸江村ニ在リ源ヲ山室村谿間ニ發シ高町屋
 村ヲ經テ海ニ入ル此地往昔參宮ノ街道ニ属シ神三郡ノ界トナス勅
 使神宮ニ到ル時此川ニ禊シテ驛鈴ノ聲ヲ止ム因テ之ニ架スル橋ヲ
 鈴止橋ト云フ又一古松アリ圍壹丈七尺高拾五間枝葉延ビテ方拾間

餘ニ及ブ名ヅケテ鈴止松ト云フ松樹ノ邊又鈴止森ノ名アリ五鈴遺蹟、古老碑
 按ズルニ下樋小川ハ一説ニ本郡下村意悲神社ノ邊ヨリ流ル、小
 流ナリト云ヒ又松坂人ノ説ニ平生町愛宕町ニ係ル小川是ナリト
 云フ諸説紛々未ダ據ル所ヲ知ラス今暫ク本村ヲ以テ之ニ充ツ
 神祇百首 度會元長

邑里

音ニ聞く下樋小川の橋絶て引わたしけん御代のはるけさ

松坂十景 文政十年代官小坂氏探景詩十章和歌十首ヲ作り以テ之ヲ

定ム曰フ

- 松坂金城 宵森杜宇 五曲桃花外五曲村ニ在リ 篠川螢火 西莊
- 行人 井村早鷹 堀坂晴月 袖岡暮雨一志郡阿坂山 布引積雪同郡布引山
- 聚嶺遠眺一名袴越度會那佐八、大倉兩村ノ東南ニ在リ

大石村 和歌山街道ニ属ス神風抄載スル所大石御園ノ地是ナリ此地
路傍溪礫ニ巨石多シ

大石を行ける折節人のもとへ返事よ 北畠國永

とよろくよつらき人の心ある千曳の石もひけとひくるよ

神祠

意悲神社 松坂殿町ニ在リ應神天皇倉稻魂命ヲ合祀ス創立詳ナラズ
 天正中藩生氏郷細頸城ヲ此ニ移ス時社殿ヲ修營シ本城ノ鎮守神ト
 崇ム後城主代々之ヲ崇敬ス明治二年 今上本州へ行幸ノ時奉幣使
 參向アリ祭日一月四日九月十五日社記

立野神社 立野村ニ在リ五十猛命ヲ祀ル創立詳ナラズ祭日正月十一
 日十一月十一日陰社内ニ享保中建ツル所殺生禁制ノ石標アリ
 花岡神社 宮前村ニ在リ八柱皇大神ヲ祀ル創立詳ナラズ祭日一月十

一日六月十一日陰曆

梵 刹

來迎寺 松坂白粉町ニ在リ天台宗近江西教寺末ナリ永正中北畠材親
 戦死者ヲ吊セントシテ一志郡松島村ニ一寺ヲ建テ教王山眞盛堂來迎
 寺ト号シ塔頭六坊ヲ眞キ寺料ヲ寄附ス天正十六年今ノ地ニ移ル材
 親嘗テ比叡山西教寺中興僧眞盛ヲ延請シテ其戒ヲ聽ク布政ニ裨補
 アル少カラズ眞盛堂ノ号亦其遺徳ヲ追慕スル所以ナリ寺記五
 鈴遺徳

清光寺 松坂中町ニ在リ浄土宗知恩院末ナリ天平感寶元年僧行基松島
 村今一志郡
 二風スニ創建シ眞言宗神光寺ト号ス大永中僧超譽今宗ニ改メ
 清光寺ト号ス天正中津川玄蕃允蒲生氏郷共ニ松島
 城主ノ菩提所マリ十
 六年松坂日野町ニ轉ズ元和中徳川頼宣今ノ地ヲ與ヘ堂宇ヲ再建セシ
 ム後僧信阿ヲ中興開山トナス僧西行本州行脚ノ時本寺ニテ詠ズル

歌ニ寺記五
 鈴遺徳

いせ島や石津の浦よする浪かゝし貝をも拾ひのゝ見ん

常念寺 菩提樹 松坂中町ニ在リ眞宗專修寺末ナリ往昔安倍宗光ナル
 モノアリ薙髮シテ天台宗ノ僧トナリ一寺ヲ大河内村ニ建テ常念山
 觀音寺ト云フ後一志郡松嶋村ニ移ル寛正五年專修寺僧眞惠巡行ノ
 時留錫シテ法化道場トナシ天正中今ノ地ニ移シ尋テ寺号ヲ改ム境
 内菩提樹アリ眞惠法印本寺ノ種子ヲ移植セシト云フ寺記古
 老口碑

龍泉寺 松坂愛宕町ニ在リ眞言宗山城大覺寺末ナリ弘仁中僧空海一
 志郡瀧之川村ニ一寺ヲ創立ス北畠氏祈願所トシテ寺領若干ヲ寄附
 ス永祿ノ頃一志郡松島村ニ移ル天正九年僧良宗堂宇ヲ今ノ地ニ建
 ツ正親町天皇ノ勅願所タリ元和八年八月徳川頼宣寺領ヲ寄附シ元
 祿中堂宇ヲ再建ス文明以後ノ寄附狀數通アリシガ明治九年火災ニ

カ、リ堂宇ト共ニ燒失ス惜ム可シ寺記

國分寺井本井 伊勢寺村ニ在リ眞言宗仁和寺末ナリ方俗伊勢寺ト稱ス
天平九年聖武天皇僧行基ニ勅シテ國毎ニ尼寺ヲ創立セシム本寺其一
ナリ一説ニ元正天皇養老五年五畿七道ニ一州一箇ノ國分寺ヲ造ラシム是其一ナリト文治ノ頃舊名ヲ失シ惠雲寺
ト稱セシガ後、國分寺ト改ム近傍ニ井本井アリ石ヲ以テ之ヲ疊ム深
五尺其水清冷村人之ヲ飲用ス傍ニ小祠アリ井本神社ト稱ス碑アリ
井ノ本ノ三字並ニ一首ノ歌ヲ刻ス里人傳ヘ云フ光明后此水ヲ服シ
玉ヒ益々艶麗ヲ加ヘラレシト寺記、五鈴遺響、碑面ノ歌ニ

戀しくの尋てもまよ伊勢の國ゆせ寺本よすめるわらわを

繼松寺 松坂中町ニ在リ眞言宗高野山蓮花三昧院末ナリ天平十五年
僧行基本郡石津郷ニ創立天平勝寶二年秋洪水ニカ、リ堂宇漂流ス
八月度會郡二見郷ノ人三津正信海中ニ於テ本寺ノ本尊ヲ獲因テ舊

地ニ堂宇ヲ再建シ薙髮シテ繼松ト云フ後、之ヲ寺号トナス天正中今
ノ地ニ移ス寺ヨリ韓天壽ノ墨帖ヲ摺出セリ之ヲ岡寺板ト云フ毎年
初午ノ日諸人群參シテ殷賑ヲ極ム

佐々木光子

岡寺の初午まゐりよきはひぬ道もなきまで引續きつゝ

瑞巖寺觀音巖セツ石並櫻 岩イワチ内村ニ在リ往昔僧空海海内遊行ノ時此
地ニ來リ山上ニ瑞雲ノ起ルヲ見暫ク錫ヲ留ノ乃チ谿間ニ壁立セル
巨巖ノ表面ニ觀音佛ノ像ヲ刻シ山下ニ一寺ヲ建ツ後、地震ノ爲メニ
佛像頽壞シテ石面ニ面貌ノミ自然ニ現ル俗、石觀音ト稱ス寺地、山ニ
倚リ池ヲ擁シ風景絶佳ナリ境内、小町石、綱石、額石、鏡石、足石、牛石、鷲石アリ共ニ著名ナリ人以テ奥州
松島ノ風景ニ擬スト云フ寺記、勢國見聞集
並櫻 境内觀音川ノ北岸ニ並植ス俗、櫻繩手ト稱ス其他山中到ル處

ニ多シ初ノ本寺中興僧法
譽數十株ヲ植エシニ追年
培植シテ今ノ如クナレリ

小津久足

吹さそふ嵐まきれて

瀧川のひゞきよ花の

散るかどぞ見る

秋の末つかよ瑞巖寺よて

佐々木弘綱

春もてん櫻かへてを

おしてめて紅葉よ

こもる秋の山寺

瑞巖寺風景ノ圖



横瀧寺 西方松宗夢梅

伊勢寺村ニ在リ淨土宗龍泉寺末ナリ聖武天皇僧

行基ニ勅シテ之ヲ創立セシム舊ト堀坂山ニ在リシヲ寛和中今ノ地

ニ移ス世稱シテ靈地トナシ詣ツル者常ニ絶エス一古松アリ西方松

一名龍燈松

ト云フ其枝皆西方ニ向フテ垂ル又本寺ノ山腹ニ宗夢梅アリ

中興僧宗夢之ヲ植ウ寺記勢國見聞集

佐々木弘綱

横瀧のみ山此奥と聞おしを海こそ庭のけしき成けれ

菅相寺並梅

松坂愛宕町ニ在リ

世ニ此地ヲ梅ガ森ト稱ス

臨濟宗妙心寺末ナリ

往昔此地ニ古塚アリ里人之ニ觸ルレバ必ず殃ヲ得ルトナシ敢テ近ク

モノナシ寛永中郡宰長野清貞聞テ之ヲ穿ツ丈餘ニシテ寶劍ヲ得タ

リ又神託アリ曰フ我ハ天滿大神ナリト因テ之ヲ徳川頼宣ニ陳ス頼

宣命ジテ本寺ヲ創建シ又天神祠ヲ建ツ境内梅ガ森ノ碑アリ本居宣

長ノ撰文橘千蔭ノ書ニ係ル寺記勢國見冊集

並梅 始メ紅白二株アリ相並ブ因テ此名アリ後年本居宣長數十株ヲ加植セシヨリ並木ノ梅ト稱ス

本居宣長

咲そむる春此立枝よかけさして朝日も匂ふ神垣の梅

園林

松坂公園俗ニ城山ト稱ス

松坂ノ西部ニ在リ世ニ四五百森ト稱ス即チ舊城郭面

積凡ソ三千坪餘ノ地ヲ云フ園ニ南龍神社アリ紀伊徳川氏ノ祖先ヲ祀ル明治十四年五月官ニ請フテ公園トナス土地高燥樹木深鬱内海ノ風景亦望中ニ属ス春秋遊客常ニ絶エス

佐々木信綱

忘れめやむらは遊よかさしつるその城山の花此盛を

四五百森一ニ竹森又四間生森夜飛森ニ作ル

松坂ニ在リ舊城址今公園トナルヨリ意悲神社ノ邊

ヲ総稱ス神鳳抄載スル所四箇生御園ノ地是ナリ背書國誌三國地志古木森鬱トシテ頗ル幽凄ヲ覺ユ

足利義教供奉紀行

大僧都堯孝

此まろれ月見るよひの森ならば猶旅人の立やよらまし

參宮記

北村季吟

木間もる月よそふらし宵の森みやまを思ふ心づくしハ

山村梅林 笹川村字上廣ニ在リ前ハ笹川ノ清流ヲ帶ビ後ハ堀坂山ト相對ス老幹槎枒枝ヲ交エ花時ノ盛近傍其比ヲ見ズ春時風流ノ客杖ヲ曳クモノ多シ

洞窟

瑞巖寺巖窟 岩内村ニ三窟アリ一ハ山之神岩洞ト云フ本寺ノ南貳拾

間許ノ小丘ニ位ス口方貳尺深三間高幅凡ソ六尺蓋フニ巨石三個ヲ以テス一ハ寺尾山岩洞ト云フ寺ノ西北字寺尾ニ在リ洞口方四尺餘深四間三尺高幅六七尺役小角ノ小石像ヲ置ク一ハ塔ノ洞ト云フ本寺境内ニ在リ洞口方四尺五寸深三間高幅凡ソ七尺地藏佛ヲ安ンズ俱ニ何人ノ穿ツヲ知ラズ蓋シ古墳ノ類ナラン

池泉

深長一名泉 深長フカチガ村大神神社境外南隅ニ在リ池廣三拾坪餘深凡ソ三尺每春播種ノ時湧出シ秋収ノ候ニ涸渴ス水中石菖蒲ヲ産ス周圍老杉翠松蔚茂シ頗ル幽邃ナリ近傍來リ汲ムモノ多シ往昔松坂城主古田重勝賞翫茶湯ニ供ス早時ニハ本村數十町ノ水田ヲ灌漑スト云フ古老口碑朝日井 岩内村字中世古瑞巖寺ヲ距ル凡ソ四町許ニ在リ水涸レテ纔ニ古形ヲ存ス傳ヘ云フ僧空海ノ加持水ニシテ當時奇特ヲ現ハシ諸人群

集セシト側ニ碑アリ朝日ノ井ノ數字ヲ刻シ側面大行寺ノ三字ヲ記ス蓋シ往時此地ニ大行寺アリ此レ其遺址ナランカ
觀音寺址ノ井水 桂瀬村字新田觀音寺ノ舊址ニ在リ其水清冽茶湯ニ適ス好事家來リ汲ム者多シ

樹石

堤松 松坂本町御厨神社境内ニ在リ三株アリ圍壹丈五尺ヨリ貳丈ニ至ル古老傳ヘ云フ元和五年本社ヲ此地ニ移スノ時已ニ巨松タリ一目シテ五七百年ノモノタルヲ知ル
念佛寺櫻 伊勢寺村念佛寺境内ニ在リ往昔櫻樹極メテ多ク蓮香亭ノ櫻ト稱シ蓮香ハ本寺開山ノ僧 其名高カリシガ今僅ニ數株ヲ存ス春時ニ至レバ今尙遊觀スルモノ多シ

小津久足

植しその蓮は光きえなら櫻の木立つきて此をり

楓樹 西之庄村小津氏ノ庭園ニ在リ近傍無比ノ名木タリ往昔近江高野永源寺ヨリ移植セシモノナリト云フ

金剛巖 有間野村字黒洞ニ在ル巨岩ヲ云フ岩間樹木ヲ生ス傍ニ小瀑布アリ七井戸ト云フ傳ヘ云フ往時此邊人家多ク岩傍不動像ヲ安置ス又鯉魚石等アリ旱魃ノ時里人雨ヲ此ニ祈ル後年佛像及ビ名石トモ人ノ持去ル所トナリ今、一ノ小祠ヲ眞ク慶長ノ頃長井成知ナルモノ家世藏スル所ノ軍器ヲ此ニ埋ムト成知ハ近江澤山ノ入北畠具親ニ從ヒ功アリ後、本村ニ住シテ里正トナル長井氏舊記 古老口碑

礫石 赤桶村ニ在リ河俣川ノ中央ニ属ス巨巖高九尺傳ヘテ倭姫命ノ舊跡ナリト云フ參宮往來ノ旅人小礫ヲ以テ之ニ抛チ中ルモノ男子ヲ生ミ中ラザルモノ女子ヲ生ムトナス五鈴近來佐々木弘綱ニ其記文

ヲ請フテ摺出セリ

雲母石 本朝年代記ニ元明天皇和銅六年伊勢大和兩國ヨリ水銀雲母

ヲ貢スト記ス今、本郡堀坂山ニ雲母石アリ往年紀伊和歌山藩主へ此

ノ石ヲ獻セシコトアリ勢國見 聞集

子種石一名明鏡石 廣瀬村藥師寺境内ニ在リ高五尺周圍壹丈許形狀蠶繭

ノ如シ方俗蠶ヲ養フ者參詣シテ幸ヲ祈レバ驗アリト云フ勢國名木石集 勢國見聞集

觀音巖一名炮巖 大石村金常寺境内ニ在リ和歌山街道ニ沿フ高大約壹

百尺一大岩山ノ半腹ヨリ脹出シテ將ニ墜チントスルノ勢ヲナス行

路ノ人ヲシテ爲メニ悚然タラシム傳ヘ云フ往昔土器ヲ售ル者此ヲ

過ギ危懼シテ進ム能ハズ日暮ニ至ル是ヨリ炮烙土器名ノ名アリト

五鈴遺器 古老口碑

星落石 作瀧村字小作太河俣川ノ傍ニ在リ長九尺幅三尺餘形チ臥牛

ノ如シ青色ニシテ處々凹處アリ 五鈴遺標

城砦及宅址

松坂城址

一名四五百森城又皆森城俗ニ城山ト稱ス

松坂殿町ニ在リ今公園地トナリ尙石壁ヲ

存ス元龜元年北畠氏ノ臣潮田長助始メテ之ヲ築ク 北畠物語○或ハ曰フ長助城ヲ築クノ説

好事者ノ言ニ出ツト姑ク之ヲ存ス 天正十二年北畠信雄羽柴秀吉ト隙アリ秀吉因テ蒲

生氏郷ヲ一志郡松島城ニ居ク十六年其城ヲ廢シ此ニ移ス松坂城ト

改ム大ニ壯麗ヲ加フ十八年氏郷若松城ニ轉ズ秀次服部一忠ヲシテ

代リ居ラシム秀次ノ叛ヲ圖ル一忠亦死ヲ賜フ文祿四年古田重勝日

野ヨリ移テ之ニ居ル重治ニ至リ元和五年石見濱田ニ移ル本城遂ニ

紀伊徳川頼宣ノ所領トナル城代ヲ居キ之ヲ鎮ス後幕府一國一城ノ

制ヲ定メシヨリ天守門櫓等ヲ毀壞ス明治維新ニ至リ城廢ス 五鈴遺標昔其國誌

大河内城址 大河内村字城山ニ在リ西方山脈ヲ負ヒ東南北三面平地

ニ臨ム坂内川南麓ヲ縈リ矢津川西北ヲ流レ共ニ會シテ一トナリ自

ラ濠塹ノ形ヲナス東南ハ樹木森鬱概子懸崖ニシテ躋攀スルニ難シ

北方ハ溪谷タリ世ニ七尾七谷ノ嶮ト稱ス東方ノ要害ヲ廣坂口ト云

フ是ヲ追手門トナス稍南ヲ龍藏庵口ト云フ是ヲ搦手門トナス山上

樓櫓ノ址今耕地林藪等トナル應永二十一年國司北畠滿雅ノ兵ヲ舉

ゲテ南朝ニ應スルヤ自ラ阿坂城ニ據リ其弟顯雅ヲシテ之ニ居ラシ

ム後遂ニ足利氏ニ降リ本城ヲ保ス 一説ニ木城文明中北畠材親ノ築ク所トナシ又永祿中具教ノ築ク所トナス蓋シ誤リナラン

永祿ノ末織田信長將ニ北畠氏ヲ討タントス國司具教多氣城ノ攻守

ニ便ナラサルヲ以テ嫡子信意ヲ本城ニ居ク 大河内御所ト稱ス 自ラ一志郡大淀

城ニ隱居シ入道不知齋ト稱ス十二年八月信長已ニ阿坂城ヲ陷レ來テ

桂瀬山ニ陣ス其將池田信輝丹羽五郎左衛門稻葉一徹齋等兵七萬餘

騎ヲ率半本城ニ迫ル城將日置大膳安保大藏家木主水之助長野左京

等能ク拒ク攻圍數旬輒ク拔ク能ハズ信長使ヲ遣リ和ヲ議シ其子茶
 筧丸ヲ以テ信意ノ嗣トナシ其妹ニ配シ附スルニ二十萬石ヲ以テス
 天正四年信長謀テ北畠氏族類ヲ亡ボス本城終ニ廢ス伊勢兵亂記北畠
 物語伊勢軍記吉
 野日

大河内へ下り侍りし彌生此をしのぎ花を見て

北畠國永

枝折とて何奥ふらく尋ねけん外山を花のまゝにたさきぬる
 坂内城址 坂内村字石上谷ト脇谷ノ間ニ在リ西南坂内川ニ臨ミ東北
 細野山ノ連脈重疊シ尤モ要害ノ地ナリ山上平坦僅ニ礎石ヲ存ス應
 永二十一年北畠滿雅ノ義兵ヲ舉グルヤ木造城主木造俊康附カズ滿
 雅攻メテ其城ヲ取り族雅俊ヲシテ代リ居ラシム既ニシテ俊康攻メ
 テ之ヲ復ス雅俊退テ本城ニ居ル遂ニ氏トス後坂内滿輔入道其子兵

庫頭相繼テ居ル天正四年北畠信雄ノ兵來リ攻ム其家臣滿輔ヲ斬テ
 以テ降ル兵庫頭亦田丸城ニ殺サル信雄其臣足助十郎兵衛ヲシテ居
 守セシム後城廢ス當時ノ人坂内氏ノ臣ヲ稱シテ豆稅ト云フ打チテ
 之ヲ上ルトノ謂ナリトゾ吉野日記多藝
 錄五鈴遺響

船江城址 船江村ニアリ永祿天正ノ際北畠氏ノ臣本田美作守其子親

康一説ニ親康ノ父ヲ右京亮ト云フ右京亮ノ父ヲ美作守
 トシ三世ニ作ル今暫ク北畠物語伊勢兵亂記ニ從フ之ニ居ル時ニ親康
 尙幼ナリ叔父右衛門尉其家政ヲ攝ス永祿十二年織田信長師ヲ出シ
 阿坂城ヲ攻ム道此地ヲ過グ乙部藤政曰フ船江ハ要衝ノ地諸士ノ會
 スル所タリ敵此ニ來ル是本ヲ斷ツノ計ナリ宜ク之ヲ山際ニ拒グヘ
 シト城兵森菊右衛門中西清右衛門等出デ、小金塚ニ迎ヘ撃テ大ニ
 之ヲ破ル翌夜信長ノ兵復々進ム公門六郎左衛門尉亦兵ヲ出ス敵兵
 備アリ遂ニ敗ラル北畠氏亡ブルニ及ビ親康織田氏ニ屬ス天正中

信雄ニ從ヒ羽柴秀吉ニ抗シ又竊ニ歎テ秀吉ニ通ズ和成ルニ及
ビテ遂ニ其領地ヲ失フ其子千勝丸蒲生氏郷ニ仕ヘ九助ト稱ス
多勢、伊勢兵
乱記、五鈴遺誓

大石城址 大石村字御所屋敷ニ在リ今耕地タリ永正八年國司北畠村
親家ヲ其子晴具ニ讓リ髮ヲ削リ此ニ老ス州人呼ビテ大石御所ト稱
ス後此ニ卒ス又字下山ノ山上平坦ノ處アリ巨石數處ニ散在ス村人
傳ヘ云フ材親此地ニ城ヲ築カントシ土地僻遠ナルヲ以テ遂ニ止ミ
タリト大石記
遺誓

乙栗子城址一ニ乙栗
城ニ作ル 乙栗子村字大西ニ在リ方百貳拾間概子耕宅地
タリ乙栗栖平八郎之ニ住ス天正四年北畠具親兵ヲ擧グルヤ平八郎
之ニ屬シ五年多羅木峯城ニ挑戰ス其兄峯某之ニ死ス平八郎敵將日
置次大夫ニ虜ニセラル五鈴
遺誓

波瀬城址 波瀬村字城山ニ在リ今山林タリ雜木繁茂ス天正四年北畠
氏ノ亡ブルヤ是ヨリ先キ具教ノ弟某僧トナリ南都東門院ニ在リ孝
緣ト稱ス本宗ノ衰亡ヲ聞キ憤惋ニ堪ヘズ伊賀ニ走リ長木ノ吉原某
ニ憑リ還俗シテ具親ト改ム因テ義故ヲ集メ兵ヲ擧ク來屬スルモノ
多シ波瀬、峯、乙栗栖ノ諸族之ヲ奉ジテ森城ニ入ル五年春河俣谷、瀧野、
有馬野、鐵中ノ諸城ヲ築ク北畠信雄其將瀧川一益等ヲシテ之ヲ攻メ
シム諸城尋テ陥ル波瀬城固ク守リテ屈セズ敵將日置次大夫等力ヲ盡
シ之ヲ攻ム城陥リ城將自殺ス敵兵亦死スルモノ多シ森城尋テ陥ル
具親遂ニ山陽ニ奔リテ毛利氏ニ投ス五鈴
遺誓

立野城址 立野村字棕谷ノ山頭ニ在リ大約九拾坪許ノ平坦地ナリ元
龜天正ノ際北畠氏ノ臣水谷刑部少輔一ニ式部少輔
刑部大輔ニ作ル之ニ居ル五鈴
遺誓
鐵中城址高城址 有間野村字一瀬ニ在リ僅ニ其遺址ヲ存ス天正五年北畠具

親城ヲ此地ニ築キ以テ屬城トナス信雄其將瀧川一益日置大膳等ヲシテ之ヲ攻メシムクダズシテ去ル後大膳ノ弟次大夫再ビ攻メテ之ヲ陷ル五鈴高城址ハ字上山ノ嶺上ニ在リ今事比羅神社ヲ安ンズ傳ヘ云フ元暦元年八月平信兼城ヲ此ニ築キ兵ヲ擧ゲ平氏ニ應ズ源義經之ヲ討ス信兼奮戦力盡キ火ヲ城中ニ放チテ自殺スト勢國見聞集 古老口碑

赤桶城址城一ニ關伽桶 城ニ作ル赤桶村中央ノ山上ニ在リ雜木繁茂シ濠形ヲ存ス天正ノ初北畠具親義故ヲ集メ恢復ヲ謀ル本城之ニ屬ス北畠信雄日置次大夫等ヲシテ之ヲ攻メシム城乃チ陷ル三國按ズルニ具善院名錄ニ

北畠氏ノ臣關伽桶善四郎ヲ載ス蓋シ此ニ居リ以テ具親ヲ助ケシカ九回城址クガリ粟野村字中道河俣川ノ岸邊ニ在リ地勢絶險樹木茂生ス傳ヘ云フ天正ノ初北畠具親兵ヲ擧ゲ砦ヲ此ニ築ク北畠信雄ノ將日置大膳ノ陷ル所トナルト勢陽 按ズルニ具善院名錄ニ粟野半六郎アリ

蓋シ此ニ居リ以テ具親ヲ助ケシカ

七日市城址 七日市村ニ在リ今畑山林及ビ草生地タリ河俣川其麓ヲ繞ル地勢險岨ナリ天正四年日置大膳北畠具親ヲ擧チテ之ヲ敗ル信雄賞スルニ此地ヲ以テス大膳遂ニ城ヲ築キ之レニ住シ近郷ヲ鎮ス五鈴 遺響

岩内城址 岩内村字御所ガ谷ニ在リ山上平坦ノ地アリ殿閣ノ址トス西ニ登ル三町天ガ城ト稱ス天守臺ノ跡ヲ存ス北畠氏ノ族岩内光安之ニ居ル州人呼ビテ岩内御所ト云フ其男光吉玉千代丸ニ歳ニシテ北畠具親ノ養子トナリ北畠ト改稱ス具親ノ敗ルニ及ビテ岩内氏亦亡ブ子孫度會郡山田ニ住ス五鈴 遺響

伊勢寺城址 伊勢寺村字城山ニ在リ往昔小菅備後守之ニ居ル後久瀬五郎左衛門尉又居住セリ其事蹟詳ナラズ五鈴 遺響

(飯高) 城砦及宅址

黒田城址 大黒田村字押方及ビ大田ノ間ニ在リ今耕地タリ北畠氏ノ

臣中頭津多藝録中下總守之ニ居ル北畠氏ノ亡ブルヤ中頭氏又衰フ其裔

今本村ニ存ス中頭氏 舊記

森城址 森村字犬飼ニ在リ今耕地及ビ宅地トナレリ天正五年北畠氏ノ

老臣鳥屋尾右近將監家木主人佐等具親ヲ奉ジ兵ヲ擧ゲ城ヲ此ニ築ク

後信雄ノ拔ク所トナル五鈴 遺誓

五箇篠山羅城址 上出江村字大谷ノ山上ニ在リ平坦ニシテ一千騎ヲ

入ルベシ天正五年北畠信雄ノ兵具親ヲ攻ムル時此ニ築キ以テ羅城

トナス五鈴 遺誓

山室城址 山室村字奥殿ニ在リ今耕地タリ建曆二年九月伯耆ノ入山

室兼高ナルモノ始メテ之ヲ築ク歷世之ニ居ル兼氏ニ至リテ子ナシ北

畠具教ノ三子具郷ヲ養ヒ嗣トナシ兼郷ト稱ス具郷養子ノ事北畠系圖ニ載セズ天正四

年父子俱ニ田九城ニ自殺シ城廢ス古老口碑 勢國見聞集

六呂木城址 リッパキ六呂木村字寺垣内山上ニ在リ舊址纔ニ存ス祠アリ北畠

神社ト稱ス傳ヘ云フ天正中北畠氏ノ亡ブル其族具親潛ニ回復ヲ圖

ル坂内具政之ニ與ミス織田信長ノ兵來リ攻ム遂ニ戰ヒ敗レテ具親ト

共ニ毛利氏ニ奔ル尋デ病卒ス其子具真民間ニ鞠育セラレ本村ニ住

ス子孫今尙存セリ或ハ云フ天正中北畠氏ノ臣六呂木某之ニ居リ信

雄ノ兵ニ攻メラレ山副某波多瀬某ト共ニ殺サルト孰レカ是ナル

ヲ詳ニセズ北畠物語 坂内氏系圖

朴木藏人少輔宅址 大石村字御所屋敷ニ在リ今耕地タリ里人傳ヘ云

フ往昔北畠氏ノ臣朴木藏人少輔之ニ居ルト

館 址

花木館址霧館址 小片野村字朴木坂ニ在リ往昔北畠氏ノ臣朴木隼人正

(飯高) 城砦及宅址 館址

野呂信濃守此ニ居ル霧館址ハ字山際及ビ桐久保ノ間ニ在リ今田圃タ
 リ往昔北畠氏ノ臣山副十六兵衛久保將監等此ニ居ル古老口碑
 織田信長本陣址 桂瀬村字勝負谷、船後、山神谷ノ邊ヲ云フ森林相連リ
 大河内城址ト相對ス里人傳ヘ云フ文祿中大河内城ノ役織田信長此
 ニ陣スト又丹生寺村、立野村ニ陣址ト稱スルモノアリ

古墳

本居宣長墓 山室村字高峯ニ在リ塚上ニ櫻樹ヲ植ウ塔石アリ題シテ
 本居宣長之奥墓ト刻ス宣長松坂ノ人加茂眞淵ニ從ヒテ學ブ著ス所
 古事記傳等若干部アリ稱シテ國學中興ノ祖トナス享和元年九月沒
 ス年七十二宣長嘗テ自ラ肖像ヲ畫キ題スルニ歌ヲ以テス曰フ、敷島
 比大和心を人問と、朝日ヨ香ふ山櫻はな、ト明治八年三月其嗣孫信
 卿社殿ヲ此地ニ造營シ宣長及ビ平田篤胤ノ靈ヲ合祀ス十三年七月勅

使參向アリテ金幣ヲ下賜セラル今社地ヲ本郡松坂ニトシテ社殿更
 造ノ工事ニ着手ス宮内省又金圓ヲ下賜シテ其舉ヲ贊助セリ

山室山の奥つきみ詣て侍りて 佐々木弘綱

天の下みちよみちても匂ふかなやまど心の花の言の葉

古田重勝墓 松坂中町龍華寺境内ニ在リ五輪塔高三尺六寸表面前兵部
 少輔天關道運居士ト刻ス重勝ハ松坂城主ニシテ慶長十一年六月卒
 ス年四十織部流抹茶法ノ開祖タリ傳ヘ云フ重勝江戸城修築ノ時卒去
 ス系圖等卒去ノ地名ヲ記セズ是其分骨ヲ葬リシ處ナリト勢國見開集五餘遺題

按ズルニ本郡西岸江村ニ重勝ノ墓ト稱スルモノアリ又松坂愛宕
 町ニ大膳塚アリ大膳ハ蓋シ其子重治ナラン然レハ碑石ニ重勝ノ法號ヲ刻ス共ニ據ル所ヲ知ラズ蓋シ後人先世ノ恩ヲ思フモノ此ニ碑石ヲ設ケシナラン

潮田長助墓 塚本村字西ノ口田圃ノ中ニ在リ今、小丘タリ長助ノ父ヲ小

五郎ト云フ三河ノ人恠カアリ大竹ヲ曲ゲテ帶トナシ大樹ヲ屈シテ其上ニ踞ヌ又方九尺ノ室ヲ造リ其母妹ト雜具トヲ載セ自ラ負フテ神宮ニ詣テ遂ニ此地ニ留ル長助父ニ繼テ又齋カアリ國司北畠氏ニ仕ヘ四五百森城今ノ松坂城址ヲ築ク死シテ此ニ葬ル五輪選葬

潤田莊右衛門墓 大足村字大足山ニ在リ莊右衛門江戸ノ人ナリ始メ大足山本村ニ屬シテ秣場タリ享保十四年四月西野村ノ人山中ニ入り猥リニ芻草ヲ芟採ス村人之ヲ領主紀伊德川宗直ニ訴フ宗直ノ臣三浦長門守西野村ヲ領シ權勢アリ部下垣本某奸曲ヲ逞フス大足ノ民獄ニ繫ガル者多シ莊右衛門深ク之ヲ痛ミ寛保元年二月會々宗直東都ニ至ル書ヲ竿ニ插ミ之ヲ路ニ上ル宗直之ヲ納ル訊詢六年事遂ニ白スルヲ得而シテ此山本村ノ有トナル莊右衛門亦允サレテ郷ニ歸ル村民今ニ至ルマデ之ヲ德トス明治十三年七月有志者相謀テ碑ヲ

建ッ川口常文其文ヲ撰ミ德川茂承之ガ額ニ題ス

伊勢寺村古墳 伊勢寺村字横尾ニ在リ五輪塔累々臚列ス高六寸ヨリ一尺ニ至ル傳ヘ云フ此塔元ト本村國分尼寺舊址ノ草間ニ埋沒セシ元ト國分尼寺ニ五十四ヶニ村ノ墓地アリシト云フ文化七年村人之ヲ本村男女坂即チ今ニ移ス人呼テ伊勢寺ノ五輪ト云フ

一志郡

山川

矢野、神山 矢野村海濱一帶ノ松林ヲナス乃チ其地ヲ指ス林中香良州神社ヲ安ンズ故ニ神山ノ稱アリ古老口碑

按ズルニ矢野神山ノ稱夙ニ世ニ著ル或ハ云フ度會郡矢野村ニ在リト又備後、伊豫、播磨、出雲、諸州同名ノ地アリ今暫ク疑ヲ記ス

万葉 人丸